股票代碼：4934

太極能源科技股份有限公司
及子公司

合併財務報告暨會計師核閱報告
民國103及102年第3季

地址：桃園縣中壢市復興里中壢工業區自強一路5號
電話：(02)27883798

§目　　錄§

項目	頁次	財務報告附註編號
一、封　　面	1	-
二、目　　錄	2	-
三、會計師核閱報告	3	-
四、合併資產負債表	4	-
五、合併綜合損益表	5～6	-
六、合併權益變動表	7	-
七、合併現金流量表	8～9	-
八、合併財務報表附註		
(一) 公司沿革	10	一
(二) 通過財務報告之日期及程序	10	二
(三) 新發布及修訂準則及解釋之適用	10～20	三
(四) 重大會計政策之彙總說明	20～21	四
(五) 重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	21	五
(六) 重要會計項目之說明	21～51	六～三十
(七) 關係人交易	51～54	三一
(八) 質抵押之資產	55	三二
(九) 重大或有負債及未認列之合約承諾	55～57	三三
(十) 重大之災害損失	-	-
(十一) 重大之期後事項	-	-
(十二) 其　　他	58～59	三四
(十三) 附註揭露事項	59～60	三五
1. 重大交易事項相關資訊		
2. 轉投資事業相關資訊		
3. 大陸投資資訊		
(十四) 部門資訊	61	三六

Deloitte.
勤業眾信

勤業眾信聯合會計師事務所
10596 台北市民生東路三段156號12樓

Deloitte & Touche
12th Floor, Hung Tai Financial Plaza
156 Min Sheng East Road, Sec. 3
Taipei 10596, Taiwan, ROC

Tel :+886 (2) 2545-9988
Fax:+886 (2) 2545-9966
www.deloitte.com.tw

會計師核閱報告

太極能源科技股份有限公司　公鑒：

太極能源科技股份有限公司及其子公司民國 103 年及 102 年 9 月 30 日之合併資產負債表，暨民國 103 年及 102 年 7 月 1 日至 9 月 30 日，以及民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併綜合損益表、民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日合併權益變動表與合併現金流量表業經本會計師核閱竣事。上開合併財務報表之編製係管理階層之責任，本會計師之責任則為根據核閱結果出具報告。

除下段所述者外，本會計師係依照審計準則公報第三十六號「財務報表之核閱」規劃並執行核閱工作。由於本會計師僅實施分析、比較與查詢，並未依照一般公認審計準則查核，因是無法對上開合併財務報表之整體表示查核意見。

如合併財務報表附註四(二)所述，民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日列入合併財務報表之非重要子公司財務報表未經會計師核閱，其民國 103 年及 102 年 9 月 30 日資產總額分別為 2,611,537 仟元及 1,956,488 仟元，佔合併資產總額之 34.74%及 28.75%，負債總額分別為 1,582,170 仟元及 1,595,487 仟元，佔合併負債總額之 51.66%及 39.91%，民國 103 年及 102 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之綜合損益分別為損失 11,271 仟元及損失 13,601 仟元與損失 20,858 仟元及損失 35,741 仟元，佔綜合損益總額之 402.10%及(23.63%)與(12.00%)及(23.57%)。另合併財務報表附註係以該等子公司同期間未經會計師核閱之財務報告為依據編制。

依本會計師核閱結果，除上段所述該等子公司財務報表倘經會計師核閱，對合併財務報表可能有所調整之影響外，並未發現第一段所述合併財務報表在所有重大方面有違反證券發行人財務報告編製準則及經金融監督管理委員會認可之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」而須作修正之情事。

勤業眾信聯合會計師事務所
會計師　謝明忠　　會計師　李麗凰

行政院金融監督管理委員會核准文號
金管證審字第 1000028068 號

財政部證券暨期貨管理委員會核准文號
台財證六字第 0930128050 號

中華民國 103 年 11 月 7 日

太極能源科技股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國 103 年 9 月 30 日暨民國 102 年 12 月 31 日及 9 月 30 日

單位：新台幣仟元

代碼	資產	103年9月30日（經核閱）金額	%	102年12月31日（經查核）金額	%	102年9月30日（經核閱）金額	%
	流動資產						
1100	現金及約當現金（附註四、六及二九）	$ 663,378	9	$ 582,751	9	$ 468,103	7
1110	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動（附註四、五、七及三十）	169,090	2	164,220	2	4,668	-
1125	備供出售金融資產（附註四、八及三十）	216,436	3	-	-	-	-
1147	無活絡市場之債券投資－流動（附註四、九、三十及三二）	87,710	1	201,518	3	261,201	4
1150	應收票據（附註四、十及三十）	70,313	1	263	-	1,431	-
1172	應收帳款（附註四、五、十及三十）	773,251	10	399,137	6	533,533	8
1190	應收建造合約款（附註四及十一）	215	-	36,739	1	-	-
1200	其他應收款（附註四、十及三十）	45,903	1	47,365	1	44,220	1
1210	其他應收款－關係人（附註四、十、三十及三一）	184	-	-	-	-	-
1220	當期所得稅資產	394	-	770	-	665	-
130X	存貨（附註四、五及十二）	632,090	8	507,084	7	447,027	6
1421	預付款項（附註十五、三一及三三）	484,416	7	289,258	4	292,336	4
1412	預付租金（附註十四及三二）	3,942	-	3,930	-	3,861	-
1470	其他流動資產（附註十五及三二）	56,882	1	-	-	71,960	1
11XX	流動資產總計	3,204,204	43	2,233,035	33	2,129,005	31
	非流動資產						
1546	無活絡市場之債券投資－非流動（附註四、九、三十及三二）	7,975	-	7,975	-	7,879	-
1600	不動產、廠房及設備（附註四、五、十三、三一及三二）	3,261,962	44	3,417,629	50	3,289,563	48
1780	其他無形資產	1,235	-	1,138	-	1,574	-
1840	遞延所得稅資產（附註四、五及二三）	58,990	1	50,392	1	53,920	1
1915	預付設備款（附註十五）	101,208	1	82,508	1	248,112	4
1920	存出保證金（附註十五、二八、三十、三二及三三）	538,296	7	649,281	9	702,354	10
1985	長期預付租金（附註十四及三二）	171,802	2	174,228	3	172,147	3
1990	其他非流動資產（附註十五及三三）	172,451	2	200,280	3	199,916	3
15XX	非流動資產總計	4,313,919	57	4,583,431	67	4,675,465	69
1XXX	資產總計	$ 7,518,123	100	$ 6,816,466	100	$ 6,804,470	100
代碼	負債及權益						
	流動負債						
2100	短期借款（附註十六、三十及三二）	$ 683,115	9	$ 965,189	14	$ 1,131,191	17
2120	透過損益按公允價值衡量之金融負債－流動（附註四、五、七及三十）	544	-	2,152	-	3,471	-
2150	應付票據（附註十七及三十）	233,241	3	268,314	4	222,628	3
2170	應付帳款（附註十七及三十）	874,613	12	531,262	8	676,728	10
2200	其他應付款（附註十八、三十及三二）	250,892	3	260,056	4	205,447	3
2220	其他應付款－關係人（附註十八、三十、三一及三二）	111,274	2	566,678	8	871,548	13
2230	當期所得稅負債	5,628	-	-	-	-	-
2310	預收款項	87,694	1	8,819	-	10,836	-
2320	一年內到期之長期借款（附註十六、二七、三十、三二及三三）	354,393	5	389,115	6	337,584	5
2399	其他流動負債	1,364	-	388	-	405	-
21XX	流動負債總計	2,602,758	35	2,991,973	44	3,459,838	51
	非流動負債						
2540	長期借款（附註十六、三十、三二及三三）	249,746	3	238,555	4	327,428	5
2570	遞延所得稅負債（附註四、五及二三）	962	-	2,212	-	183	-
2645	存入保證金（附註三十）	49	-	3,626	-	48	-
2630	長期遞延收入（附註四、十八及二六）	205,383	3	210,943	3	210,400	3
2640	應計退休金負債（附註四及十九）	3,888	-	3,671	-	-	-
25XX	非流動負債總計	460,028	6	459,007	7	538,059	8
2XXX	負債總計	3,062,786	41	3,450,980	51	3,997,897	59
	歸屬於本公司業主之權益（附註二十及二五）						
3110	普通股股本	2,765,450	37	2,310,450	34	2,060,450	30
3200	資本公積	1,411,592	19	811,902	12	586,902	9
	保留盈餘						
3310	法定盈餘公積	21,853	-	-	-	-	-
3350	未分配盈餘	251,841	3	241,375	3	162,222	2
	其他權益						
3410	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	4,165	-	1,759	-	(3,001)	-
3425	備供出售金融資產未實現損益	436	-	-	-	-	-
31XX	本公司業主權益總計	4,455,337	59	3,365,486	49	2,806,573	41
3XXX	權益總計	4,455,337	59	3,365,486	49	2,806,573	41
	負債及權益總計	$ 7,518,123	100	$ 6,816,466	100	$ 6,804,470	100

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

（請參閱勤業眾信聯合會計師事務所民國 103 年 11 月 7 日核閱報告）

董事長：謝清福　　經理人：謝明凱　　會計主管：余秀珍

太極能源科技股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國 103 年及 102 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元，惟每股（虧損）盈餘為元

代碼		103年7月1日至9月30日 金額	%	102年7月1日至9月30日 金額	%	103年1月1日至9月30日 金額	%	102年1月1日至9月30日 金額	%
	營業收入（附註二一）								
4100	銷貨收入淨額	$1,289,644	100	$1,231,910	100	$4,646,095	100	$3,668,649	100
	營業成本								
5110	銷貨成本（附註十二、十九、二二及三一）	(1,280,652)	(99)	(1,092,869)	(89)	(4,244,869)	(91)	(3,399,631)	(92)
5900	營業毛利	8,992	1	139,041	11	401,226	9	269,018	8
	營業費用（附註十、十九、二二、二五及三一）								
6100	推銷費用	(18,526)	(1)	(26,468)	(2)	(83,026)	(2)	(68,552)	(2)
6200	管理費用	(28,904)	(2)	(28,267)	(2)	(108,889)	(2)	4,776	-
6300	研究發展費用	(18,622)	(2)	(18,060)	(2)	(53,555)	(1)	(45,263)	(1)
6000	營業費用合計	(66,052)	(5)	(72,795)	(6)	(245,470)	(5)	(109,039)	(3)
6900	營業淨利	(57,060)	(4)	66,246	5	155,756	4	159,979	5
	營業外收入及支出（附註二二及二六）								
7010	其他收入	40,897	3	4,388	-	48,639	1	9,023	-
7020	其他利益及損失	15,167	1	2,831	-	12,791	-	16,850	1
7050	財務成本（附註二一及三一）	(13,348)	(1)	(20,167)	(1)	(50,736)	(1)	(59,726)	(2)
7000	營業外收入及支出合計	42,716	3	(12,948)	(1)	10,694	-	(33,853)	(1)
7900	本期稅前淨（損）利	(14,344)	(1)	53,298	4	166,450	4	126,126	4
7950	所得稅利益（附註二三）	2,797	-	7,247	1	4,496	-	13,255	-
8200	本期淨（損）利	(11,547)	(1)	60,545	5	170,946	4	139,381	4
	其他綜合損益								
8310	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	10,340	1	(3,594)	-	2,899	-	14,799	-
8325	備供出售金融資產未實現評價損益	162	-	-	-	436	-	-	-
8399	與其他綜合損益組成部分相關之所得稅（附註二三）	(1,758)	-	611	-	(493)	-	(2,516)	-
8300	本期其他綜合損益（淨額）合計	8,744	1	(2,983)	-	2,842	-	12,283	-
8500	本期綜合損益總額	($ 2,803)	-	$ 57,562	5	$ 173,788	4	$ 151,664	4
	淨（損）利歸屬於：								
8610	本公司業主	($ 11,547)	(1)	$ 60,545	5	$ 170,946	4	$ 139,381	4
8620	非控制權益	-	-	-	-	-	-	-	-
8600		($ 11,547)	(1)	$ 60,545	5	$ 170,946	4	$ 139,381	4

（接次頁）

（承前頁）

代碼		103年7月1日至9月30日 金額	%	102年7月1日至9月30日 金額	%	103年1月1日至9月30日 金額	%	102年1月1日至9月30日 金額	%
	綜合損益總額歸屬於：								
8710	本公司業主	($ 2,803)	-	$ 57,562	5	$ 173,788	4	$ 151,664	4
8720	非控制權益	-	-	-	-	-	-	-	-
8700		($ 2,803)	-	$ 57,562	5	$ 173,788	4	$ 151,664	4
	每股（虧損）盈餘（附註二四）								
	來自繼續營業單位								
9710	基　本	($ 0.04)		$ 0.29		$ 0.65		$ 0.68	
9810	稀　釋	($ 0.04)		$ 0.29		$ 0.65		$ 0.67	

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

（請參閱勤業眾信聯合會計師事務所民國 103 年 11 月 7 日核閱報告）

董事長：謝清福　　經理人：謝明凱　　會計主管：余秀珍

太極能源科技股份有限公司及子公司

合併權益變動表

民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認會計準則查核）

單位：除另予註明者外，係新台幣仟元

代碼		歸屬於本公司業主之權益							
		股本			保留盈餘		其他權益項目		
		股數（仟股）	股本	資本公積	法定盈餘公積	未分配盈餘	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	備供出售金融資產未實現損益	權益總額
A1	102 年 1 月 1 日餘額	206,045	$ 2,060,450	$ 2,288,789	$ 70,064	($ 1,749,110)	($ 15,284)	$ -	$ 2,654,909
	101 年度盈餘指撥及分配								
B13	法定盈餘公積彌補虧損	-	-	-	(70,064)	70,064	-	-	-
	其他資本公積變動：								
C11	資本公積彌補虧損	-	-	(1,701,887)	-	1,701,887	-	-	-
D1	102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日淨利	-	-	-	-	139,381	-	-	139,381
	102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日稅後其他綜合利益								
D3		-	-	-	-	-	12,283	-	12,283
	102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日綜合損益總額								
D5		-	-	-	-	139,381	12,283	-	151,664
Z1	102 年 9 月 30 日餘額	206,045	$ 2,060,450	$ 586,902	$ -	$ 162,222	($ 3,001)	$ -	$ 2,806,573
A1	103 年 1 月 1 日餘額	231,045	$ 2,310,450	$ 811,902	$ -	$ 241,375	$ 1,759	$ -	$ 3,365,486
	102 年度盈餘指撥及分配								
B1	法定盈餘公積	-	-	-	21,853	(21,853)	-	-	-
B5	本公司股東現金股利	-	-	-	-	(138,627)	-	-	(138,627)
	股份基礎給付—								
N1	現金增資員工認股權	-	-	10,465	-	-	-	-	10,465
D1	103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日淨利	-	-	-	-	170,946	-	-	170,946
	103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日稅後其他綜合利益								
D3		-	-	-	-	-	2,406	436	2,842
	103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日綜合損益總額								
D5		-	-	-	-	170,946	2,406	436	173,788
E1	現金增資	45,500	455,000	589,225	-	-	-	-	1,044,225
Z1	103 年 9 月 30 日餘額	276,545	$ 2,765,450	$ 1,411,592	$ 21,853	$ 251,841	$ 4,165	$ 436	$ 4,455,337

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

（請參閱勤業眾信聯合會計師事務所民國 103 年 11 月 7 日核閱報告）

董事長：謝清福　　經理人：謝明凱　　會計主管：余秀珍

太極能源科技股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

代碼		103年1月1日至9月30日	102年1月1日至9月30日
	營業活動之現金流量		
A10000	本期稅前淨利	$ 166,450	$ 126,126
A20010	不影響現金流量之收益費損項目		
A20100	折舊費用	367,177	419,372
A20200	攤銷費用	3,529	4,423
A20300	呆帳費用（迴轉利益）	3,424	(92,027)
A20400	透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債之淨（利益）損失	(12,056)	13,858
A20900	財務成本	50,736	59,726
A21200	利息收入	(2,864)	(3,038)
A23100	處分備供出售金融資產淨利益	(711)	-
A29900	迴轉遞延收入	(5,979)	(5,964)
A21900	股份基礎給付酬勞成本	10,465	-
A22500	處分不動產、廠房及設備損失	7	-
A24100	未實現外幣兌換損失（利益）	6,415	(4,031)
A23700	非金融資產減損損失	13,986	11,285
A23800	存貨跌價及呆滯損失（回升利益）	9,242	(18,475)
A30000	營業資產及負債之淨變動數		
A31110	持有供交易之金融資產減少	6,009	2,066
A31130	應收票據增加	(70,050)	(775)
A31150	應收帳款（增加）減少	(377,542)	251,123
A31170	應收建造合約款增加	(215)	-
A31180	其他應收款減少（增加）	1,498	(20,321)
A31190	其他應收款－關係人（增加）減少	(184)	222
A31200	存貨增加	(134,299)	(171,762)
A31230	預付款項增加	(195,158)	(52,707)
A31240	其他流動資產增加	(56,882)	(54,403)
A31990	其他非流動資產減少（增加）	13,843	(2,724)
A32110	持有供交易之金融負債減少	(2,586)	(22,651)
A32130	應付票據（減少）增加	(35,073)	171,712
A32150	應付帳款增加	343,351	160,350
A32180	其他應付款增加	16,544	65,269
A32190	其他應付款－關係人增加（減少）	1,529	(5,687)
A32210	預收款項增加（減少）	78,875	(11,014)
A32230	其他流動負債增加（減少）	976	(120)
A32240	應計退休金負債增加	217	-

（接次頁）

（承前頁）

代　碼		103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
A33000	營運產生之現金	$ 200,674	$ 819,833
A33100	收取之利息	2,828	2,385
A33300	支付之利息	(53,100)	(59,504)
A33500	退還所得稅	159	28
AAAA	營業活動之淨現金流入	150,561	762,742
	投資活動之現金流量		
B00200	處分原始認列時指定為透過損益按公允價值衡量之金融資產	2,155	-
B00300	取得備供出售金融資產	(1,130,848)	-
B00400	出售備供出售金融資產價款	915,559	-
B00600	取得無活絡市場之債券投資	-	(57,921)
B00700	出售無活絡市場之債券投資	113,808	-
B02700	購置不動產、廠房及設備	(144,775)	(126,920)
B02800	處分不動產、廠房及設備價款	-	5
B03800	存出保證金減少	110,985	80,512
B04500	取得無形資產	(696)	(347)
B07100	預付設備款增加	(20,186)	-
BBBB	投資活動之淨現金流出	(153,998)	(104,671)
	籌資活動之現金流量		
C00200	短期借款減少	(289,232)	(128,876)
C03700	其他應付款－關係人減少	(505,899)	(8,927)
C01700	償還長期借款	(22,788)	(423,798)
C03100	存入保證金減少	(3,577)	(45)
C04500	支付本公司業主股利	(138,627)	-
C04600	發行本公司新股	1,044,225	-
CCCC	籌資活動之淨現金流入（出）	84,102	(561,646)
DDDD	匯率變動對現金及約當現金之影響	(38)	(25,351)
EEEE	本期現金及約當現金淨增加	80,627	71,074
E00100	期初現金及約當現金餘額	582,751	397,029
E00200	期末現金及約當現金餘額	$ 663,378	$ 468,103

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

（請參閱勤業眾信聯合會計師事務所民國 103 年 11 月 7 日核閱報告）

董事長：謝清福　　經理人：謝明凱　　會計主管：余秀珍

太極能源科技股份有限公司及子公司

合併財務報表附註

民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

（除另註明外，金額以新台幣仟元為單位）

一、公司沿革

太極能源科技股份有限公司（以下稱「本公司」）於 96 年 5 月 14 日核准設立，所營業務主要為太陽能電池、模組及相關系統之研究、設計、製造及銷售業務。

本公司股票自 100 年 8 月起在台灣證券交易所上市買賣。

本合併財務報告係以本公司之功能性貨幣新台幣表達。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告於 103 年 11 月 7 日經董事會通過。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一) 已發布但尚未生效之證券發行人財務報告編製準則及 2013 年版國際財務報導準則（IFRS）、國際會計準則（IAS）、解釋（IFRIC）及解釋公告（SIC）

依據金融監督管理委員會（以下稱「金管會」）發布之金管證審字第 1030029342 號及金管證審字第 1030010325 號函，合併公司應自 104 年起開始適用業經國際會計準則理事會（IASB）發布且經金管會認可之 2013 年版 IFRS、IAS、IFRIC 及 SIC（以下稱「IFRSs」）及相關證券發行人財務報告編製準則修正規定。

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB 發布之生效日（註）
IFRSs 之修正「IFRSs 之改善－對 IAS 39 之修正（2009 年）」	2009 年 1 月 1 日或 2010 年 1 月 1 日
IAS 39 之修正「嵌入式衍生工具」	於 2009 年 6 月 30 日以後結束之年度期間生效
「IFRSs 之改善（2010 年）」	2010 年 7 月 1 日或 2011 年 1 月 1 日
「2009 -2011 週期之年度改善」	2013 年 1 月 1 日

（接次頁）

（承前頁）

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB發布之生效日（註）
IFRS 1之修正「IFRS 7之比較揭露對首次採用者之有限度豁免」	2010年7月1日
IFRS 1之修正「嚴重高度通貨膨脹及首次採用者固定日期之移除」	2011年7月1日
IFRS 1之修正「政府貸款」	2013年1月1日
IFRS 7之修正「揭露－金融資產及金融負債之互抵」	2013年1月1日
IFRS 7之修正「揭露－金融資產之移轉」	2011年7月1日
IFRS 10「合併財務報表」	2013年1月1日
IFRS 11「聯合協議」	2013年1月1日
IFRS 12「對其他個體之權益之揭露」	2013年1月1日
IFRS 10、IFRS 11及IFRS 12之修正「合併財務報表、聯合協議及對其他個體之權益之揭露：過渡指引」	2013年1月1日
IFRS 10、IFRS 12及IAS 27之修正「投資個體」	2014年1月1日
IFRS 13「公允價值衡量」	2013年1月1日
IAS 1之修正「其他綜合損益項目之表達」	2012年7月1日
IAS 12之修正「遞延所得稅：標的資產之回收」	2012年1月1日
IAS 19之修訂「員工福利」	2013年1月1日
IAS 27之修訂「單獨財務報表」	2013年1月1日
IAS 28之修訂「投資關聯企業及合資」	2013年1月1日
IAS 32之修正「金融資產及金融負債之互抵」	2014年1月1日
IFRIC 20「露天礦場於生產階段之剝除成本」	2013年1月1日

註：除另註明外，上述新發布／修正／修訂準則或解釋係於各該日期以後開始之年度期間生效。

除下列說明外，適用上述2013年版IFRSs及相關證券發行人財務報告編製準則修正規定將不致造成合併公司會計政策之重大變動：

1. IFRS 10「合併財務報表」

此準則將取代IAS 27「合併及單獨財務報表」，同時亦取代SIC 12「合併：特殊目的個體」。合併公司考量對其他個體是否具控制，據以決定應納入合併之個體。當合併公司有(i)對被投資者之權力、(ii)因對被投資者之參與而產生變動報酬之暴險或權利，且(iii)使用其對被投資者之權力以影響該等報酬金額之能

力時，則合併公司對被投資者具控制。此外，針對較為複雜之情況下投資者是否具控制之判斷，新準則提供較多指引。

上述修正之準則規定對於合併公司無影響。

2. IFRS 12「對其他個體之權益之揭露」

新準則係針對子公司、聯合協議、關聯企業及未納入合併報表之結構型個體之權益規定較為廣泛之揭露內容。

3. IAS 28「投資關聯企業及合資」之修訂

依修訂之準則規定，合併公司僅將符合分類為待出售條件之投資關聯企業轉列為待出售，未分類為待出售之任何股權繼續採權益法。適用該修訂前，當投資關聯企業符合分類為待出售條件時，合併公司係將投資關聯企業全數轉列待出售，並全數停止採用權益法。

上述修正之準則規定對於合併公司無影響。

4. IFRS 13「公允價值衡量」

IFRS 13「公允價值衡量」提供公允價值衡量指引，該準則定義公允價值、建立衡量公允價值之架構，並規定公允價值衡量之揭露。此外，該準則規定之揭露內容較現行準則更為廣泛，例如，現行準則僅要求以公允價值衡量之金融工具須按公允價值三層級揭露，依照 IFRS 13「公允價值衡量」規定，適用該準則之所有資產及負債皆須提供前述揭露。

IFRS 13 之衡量規定係自 104 年起推延適用。

5. IAS 1 之修正「其他綜合損益項目之表達」

依修正之準則規定，其他綜合損益項目須按性質分類且分組為(1)不重分類至損益之項目及(2)後續可能重分類至損益之項目。相關所得稅亦應按相同基礎分組。適用該修正規定前，並無上述分組之強制規定。

合併公司將於 104 年適用上述修正編製合併綜合損益表，不重分類至損益之項目預計將包含確定福利之精算損益及採權益法認列之關聯企業（與合資）精算損益份額。後續可能重分類至損益之項目預計將包含國外營運機構財務報表換算之兌換

差額、備供出售金融資產未實現利益（損失）、現金流量避險暨採用權益法之關聯企業及合資之其他綜合損益份額（除確定福利之精算損益份額外）。

6. IAS 19「員工福利」

該修訂準則規定確定福利義務變動及計畫資產公允價值變動係於發生時認列，因而排除過去得按「緩衝區法」處理之選擇，並加速前期服務成本之認列。該修訂規定所有精算損益將立即認列於其他綜合損益，俾使已認列之淨退休金資產或負債反映計畫短絀或剩餘之整體價值。此外，「淨利息」將取代適用修訂準則前之利息成本及計畫資產之預期報酬，並以淨確定福利負債（資產）乘以折現率決定淨利息。

上述修正之準則規定對於合併公司無影響。

除上述影響外，截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估 2013 年版 IFRSs 及相關證券發行人財務報告編製準則修正規定對各期間財務狀況與財務績效之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

(二) IASB 已發布但尚未經金管會認可之 IFRSs

合併公司未適用下列業經 IASB 發布但未經金管會認可之 IFRSs。截至本合併財務報告通過發布日止，金管會尚未發布生效日。

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB 發布之生效日(註1)
「2010-2012 週期之年度改善」	2014 年 7 月 1 日（註 2）
「2011-2013 週期之年度改善」	2014 年 7 月 1 日
「2012-2014 週期之年度改善」	2016 年 1 月 1 日（註 4）
IFRS 9「金融工具」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 9 及 IFRS 7 之修正「強制生效日及過渡揭露」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 10 及 IAS 28 之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	2016 年 1 月 1 日（註 3）
IFRS 11 之修正「聯合營運權益之取得」	2016 年 1 月 1 日
IFRS 14「管制遞延帳戶」	2016 年 1 月 1 日
IFRS 15「來自客戶合約之收入」	2017 年 1 月 1 日
IAS 16 及 IAS 38 之修正「可接受之折舊及攤銷方法之闡釋」	2016 年 1 月 1 日
IAS 16 及 IAS 41 之修正「農業：生產性植物」	2016 年 1 月 1 日

（接次頁）

（承前頁）

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB發布之生效日(註1)
IAS 19 之修正「確定福利計畫：員工提撥金」	2014 年 7 月 1 日
IAS 27 之修正「單獨財務報表中之權益法」	2016 年 1 月 1 日
IAS 36 之修正「非金融資產可回收金額之揭露」	2014 年 1 月 1 日
IAS 39 之修正「衍生工具之合約更替及避險會計之繼續」	2014 年 1 月 1 日
IFRIC 21「公課」	2014 年 1 月 1 日

註 1：除另註明外，上述新發布／修正／修訂準則或解釋係於各該日期以後開始之年度期間生效。

註 2：給與日於 2014 年 7 月 1 日以後之股份基礎給付交易開始適用 IFRS 2 之修正；收購日於 2014 年 7 月 1 日以後之企業合併開始適用 IFRS 3 之修正；IFRS 13 於修正時即生效。其餘修正係適用於 2014 年 7 月 1 日以後開始之年度期間。

註 3：推延適用於 2016 年 1 月 1 日以後開始之年度期間所發生之交易。

註 4：除 IFRS 5 之修正採推延適用外，其餘修正係適用於 2016 年 1 月 1 日以後開始之年度期間。

除下列說明外，適用上述新發布／修正／修訂準則或解釋將不致造成合併公司會計政策之重大變動：

1. IFRS 9「金融工具」

金融資產之認列及衡量

就金融資產方面，所有原屬於 IAS 39「金融工具：認列與衡量」範圍內之金融資產後續衡量係以攤銷後成本衡量或以公允價值衡量。IFRS 9 對金融資產之分類規定如下。

合併公司投資之債務工具，若其合約現金流量完全為支付本金及流通在外本金金額之利息，分類及衡量如下：

(1) 以收取合約現金流量為目的之經營模式而持有該金融資產，則該金融資產係以攤銷後成本衡量。此類金融資產後續係按有效利率認列利息收入於損益，並持續評估減損，減損損失認列於損益。

(2) 藉由收取合約現金流量與出售金融資產而達成目的之經營模式而持有該金融資產，則該金融資產係以透過其他綜合損益按公允價值衡量。此類金融資產後續係按有效利率認列利息收入於損益，並持續評估減損，減損損益與兌換損益亦認列於損益，其他公允價值變動則認列於其他綜合損益。於該金融資產除列或重分類時，原先累積於其他綜合損益之公允價值變動應重分類至損益。

合併公司投資非屬前述條件之金融資產，係以公允價值衡量，公允價值變動認列於損益。惟合併公司得選擇於原始認列時，將非持有供交易之權益投資指定為透過其他綜合損益按公允價值衡量。此類金融資產除股利收益認列於損益外，其他相關利益及損失係認列於其他綜合損益，後續無須評估減損，累積於其他綜合損益之公允價值變動亦不重分類至損益。

<u>金融資產之減損</u>

IFRS 9 改採用「預期信用損失模式」認列金融資產之減損。以攤銷後成本衡量之金融資產、強制透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產、應收租賃款、IFRS 15「來自客戶合約之收入」產生之合約資產或放款承諾及財務保證合約，係認列備抵信用損失。若前述金融資產之信用風險自原始認列後並未顯著增加，則其備抵信用損失係按未來 12 個月之預期信用損失衡量。若前述金融資產之信用風險自原始認列後已顯著增加且非低信用風險，則其備抵信用損失係按剩餘存續期間之預期信用損失衡量。但未包括重大財務組成部分之應收帳款必須按存續期間之預期信用損失衡量備抵信用損失。

此外，原始認列時已有信用減損之金融資產，合併公司考量原始認列時之預期信用損失以計算信用調整後之有效利率，後續備抵信用損失則按後續預期信用損失累積變動數衡量。

<u>一般避險會計</u>

IFRS 9 在一般避險會計之主要改變，係調整避險會計之適用條件，以使適用避險會計之財務報表更能反映企業實際進行

的風險管理活動。與 IAS 39 相較，其主要修正內容包括：(1)增加可適用避險會計之交易型態，例如放寬非財務風險適用避險會計之條件；(2)修改避險衍生工具之損益認列方式，以減緩損益波動程度；及(3)避險有效性方面，以避險工具與被避險項目間的經濟關係取代實際有效性測試。

2. IAS 36 之修正「非金融資產可回收金額之揭露」

IASB 於發布 IFRS 13「公允價值衡量」時，同時修正 IAS 36「資產減損」之揭露規定，導致合併公司須於每一報導期間增加揭露資產或現金產生單位之可回收金額。本次 IAS 36 之修正係釐清合併公司僅須於認列或迴轉減損損失當期揭露該等可回收金額。此外，若可回收金額係以現值法計算之公允價值減處分成本衡量，合併公司須增加揭露所採用之折現率。

3. IFRIC 21「公課」

IFRIC 21 對政府依法所徵收之各類款項（簡稱公課）應於何時認列為負債提供指引，包含徵收時點與金額均已確定者，及徵收時點或金額尚不確定之負債準備。合併公司於應納公課之交易或活動發生時，始應估列相關負債。因此，若支付義務係隨時間經過而發生（例如隨著企業收入之產生），相關負債亦應逐期認列；若支付義務係於達到特定門檻（例如營收達到特定金額）時產生，相關負債應於達到門檻時認列。

4. 2010-2012 週期之年度改善

2010-2012 週期之年度改善修正 IFRS 2「股份基礎給付」、IFRS 3「企業合併」及 IFRS 8「營運部門」等若干準則。

IFRS 2 之修正係改變既得條件及市價條件定義，並增列績效條件及服務條件定義。該修正釐清績效條件所訂之績效目標得按合併公司或同一集團內另一個體之營運（非市價條件）或權益工具之市價（市價條件）設定。該績效目標之設定得與合併公司整體或部分（例如某一部門）績效有關，而達成績效目標之期間則不得長於服務期間。此外，該修正並釐清股價指數

目標因同時反映合併公司本身與集團外其他企業之績效，故非屬績效條件。

IFRS 3 之修正係釐清企業合併之或有對價，無論是否為 IAS 39 或 IFRS 9 之適用範圍，應以公允價值衡量，公允價值變動係認列於損益。

IFRS 8 之修正係釐清若合併公司將具有相似經濟特性之營運部門彙總揭露，應於合併財務報告揭露管理階層於運用彙總基準時所作之判斷。此外，該修正亦釐清合併公司僅於部門資產定期提供予主要營運決策者時，始應揭露應報導部門資產總額至企業資產總額之調節資訊。

IFRS 13 之修正係釐清適用 IFRS 13 後，無設定利率之短期應收款及應付款，若折現之影響不重大，仍得按原始發票金額衡量。

IAS 24「關係人揭露」之修正係釐清，為合併公司提供主要管理階層服務之管理個體係屬合併公司之關係人，應揭露管理個體提供主要管理階層服務而致報導個體發生之已支付或應支付金額，惟無須揭露該等薪酬之組成類別。

5. 2011-2013 週期之年度改善

2011-2013 週期之年度改善修正 IFRS 3、IFRS 13 及 IAS 40「投資性不動產」等若干準則。

IFRS 3 之修正係釐清 IFRS 3 不適用於聯合協議本身財務報表中關於其設立之會計處理。

IFRS 13 之修正係對適用以淨額基礎衡量金融資產及金融負債群組公允價值之例外（即「組合例外」）進行修正，以釐清該例外範圍包括 IAS 39 或 IFRS 9 適用範圍內並依其規定處理之所有合約，即使該合約不符合 IAS 32「金融工具：表達」對金融資產或金融負債之定義亦然。

IAS 40 之修正係釐清合併公司應同時依 IAS 40 及 IFRS 3 判斷所取得之投資性不動產係屬取得資產或屬企業合併。

6. IFRS 11 之修正「聯合營運權益之取得」

該修正規定當合併公司（聯合營運者）取得符合業務定義之聯合營運權益，應依 IFRS 3 及其他準則之原則，按公允價值衡量可辨認資產與負債、將收購相關成本認列為費用（發行債券或權益證券之成本除外）、認列商譽及原始認列資產與負債相關之遞延所得稅，以及至少每年進行商譽減損評估。此外，尚應進行企業合併有關之揭露。若合併公司以現存之業務作價投資成立聯合營運，亦應按前述規定處理。

若對聯合營運具聯合控制之個體於取得聯合營運權益前後為共同控制下個體，則該收購不適用上述規定。

上述修正於生效日以後開始之年度期間推延適用，並允許提前適用。

7. IAS 16 及 IAS 38 之修正「可接受之折舊及攤銷方法之闡釋」

企業應採用適當之折舊及攤銷方法以反映其消耗該不動產、廠房及設備與無形資產未來經濟效益之預期型態。

IAS 16「不動產、廠房及設備」之修正規定，收入並非衡量不動產、廠房及設備折舊費用之適當基礎，且該修正並未提供得以收入為基礎提列折舊費用之例外規定。

IAS 38「無形資產」之修正則規定，除下列有限情況外，收入並非衡量無形資產攤銷費用之適當基礎：

(1) 無形資產係以收入之衡量表示（例如，合約預先設定當收入達特定門檻後無權再使用該無形資產），或

(2) 能證明收入與無形資產經濟效益之耗用高度相關。

上述修正於生效日以後開始之年度期間推延適用，並允許提前適用。

8. IFRS 15「來自客戶合約之收入」

IFRS 15 係規範來自客戶合約之收入認列原則，該準則將取代 IAS 18「收入」、IAS 11「建造合約」及相關解釋。

合併公司於適用 IFRS 15 時，係以下列步驟認列收入：

(1) 辨認客戶合約；

(2) 辨認合約中之履約義務；

(3) 決定交易價格；

(4) 將交易價格分攤至合約中之履約義務；及

(5) 於滿足履約義務時認列收入。

IFRS 15 生效時，合併公司得選擇追溯適用至比較期間或將首次適用之累積影響數認列於首次適用日。

9. IFRS 10 及 IAS 28 之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」

該修正規定，若合併公司出售或投入資產予關聯企業（或合資），或合併公司喪失對子公司之控制，但保留對該子公司之重大影響（或聯合控制），若前述資產或前子公司符合 IFRS 3「業務」之定義時，合併公司係全數認列該等交易產生之損益。

此外，若合併公司出售或投入資產予關聯企業（或合資），或合併公司在與關聯企業（或合資）之交易中喪失對子公司之控制，但保留對該子公司之重大影響（或聯合控制），若前述資產或前子公司不符合 IFRS 3「業務」之定義時，合併公司僅在與投資者對該等關聯企業（或合資）無關之權益範圍內認列該交易所產生之損益，亦即，屬合併公司對該損益之份額者應予以銷除。

10. 2012-2014 週期之年度改善

2012-2014 週期之年度改善修正 IFRS 5「待出售非流動資產及停業單位 」、IFRS 7、IAS 19 及 IAS 34 等若干準則。

IFRS 5 之修正規定，「待出售」與「待分配予業主」之非流動資產（或處分群組）間之重分類，並非出售計畫或分配予業主計畫之變更，故無須迴轉原分類下之會計處理。此外，「待分配予業主」之非流動資產不再符合待分配條件（亦不再符合待出售條件）時，應比照資產停止分類為待出售之處理。

IFRS 7之修正提供額外指引，以闡明服務合約是否屬對已移轉金融資產之持續參與。此外，該修正亦闡明除特定情況外，期中財務報告無須揭露金融資產及金融負債互抵揭露規定之資資訊。

IAS 19之修正闡明，於決定用以估計退職後福利折現率之高品質公司債是否具深度市場時，應以合併公司支付福利之相同貨幣計價之公司債市場評估，亦即應以貨幣層級（而非國家或區域層級）進行評估。

IAS 34之修正闡明IAS 34要求之其他揭露事項應列入期中財務報告，若合併公司同時對外出具相同之其他資訊（例如管理階層之說明或風險報告），期中財務報告得不重複揭露，但應交互索引至該對外出具之其他資訊，以使財務報表使用者可在相同條件及同一時間下取得該等資訊及期中財務報告。

除上述影響外，截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估其他準則、解釋之修正對財務狀況與財務績效之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

四、重大會計政策之彙總說明

(一) 遵循聲明

本合併財務報告係依照證券發行人財務報告編製準則及經金管會認可之IAS 34「期中財務報導」編製。本合併財務報告並未包含整份年度財務報告所規定之所有IFRSs揭露資訊。

(二) 合併基礎

列入合併財務報告之子公司

本合併財務報告編製主體如下：

投資公司名稱	子公司名稱	業務性質	所持股權百分比 103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
太極能源科技股份有限公司	太極能源科技控股(薩摩亞)有限公司	投資業務	100	100	100
太極能源科技股份有限公司	承陽能源股份有限公司	太陽能發電系統銷售業務	100	100	100
太極能源科技股份有限公司	太極能源科技日本株式會社	太陽能產品、自動化設備及電子代工產品等銷售業務	100	100	-
太極能源科技控股(薩摩亞)有限公司	太極能源科技(昆山)有限公司	研發、設計及生產高技術綠色電池(太陽能電池及相關電池組件)	100	100	100

103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日列入合併財務報表之子公司皆非重要子公司，其財務報表皆未經會計師核閱，其 103 年及 102 年 9 月 30 日資產總額分別為 2,611,537 仟元及 1,956,488 仟元，佔合併資產總額之 34.74%及 28.75%，負債總額分別為 1,582,170 仟元及 1,595,487 仟元，佔合併負債總額之 51.66%及 39.91%，民國 103 年及 102 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之綜合損益分別為損失 11,271 仟元及損失 13,601 仟元與損失 20,858 仟元及損失 35,741 仟元，佔綜合損益總額之 402.10%及(23.63%)與(12.00%)及(23.57%)。

(三) 其他重大會計政策說明

除下列說明外，本合併財務報告所採用之會計政策與 102 年度合併財務報告相同。

1. 退職後福利

期中期間之退休金成本係採用前一財務年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期末為基礎計算，並針對該結束日後之重大市場波動，及重大縮減、清償或其他重大一次性事項加以調整。

2. 所得稅

所得稅費用係當期所得稅及遞延所得稅之總和。期中期間之所得稅係以年度為基礎進行評估，以預期年度總盈餘所適用之稅率，就期中稅前利益予以計算。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

本合併財務報告所採用之重大會計判斷、估計及假設不確定性主要來源與 102 年度合併財務報告相同。

六、現金及約當現金

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
庫存現金及週轉金	$ 577	$ 548	$ 363
銀行支票及活期存款	263,101	269,047	234,137
約當現金			
原始到期日在3個月以內之銀行定期存款	399,700	313,156	233,603
	$ 663,378	$ 582,751	$ 468,103

七、透過損益按公允價值衡量之金融工具

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
指定透過損益按公允價值衡量之金融資產			
結構式存款(一)	$ 169,062	$ 161,119	$ -
持有供交易之金融資產			
衍生工具（未指定避險）			
匯率選擇權(二)	28	30	4,033
遠期外匯合約(三)	-	3,071	635
透過損益按公允價值衡量之金融資產	$ 169,090	$ 164,220	$ 4,668
持有供交易之金融負債			
衍生工具（未指定避險）			
匯率選擇權(二)	$ 385	$ 1,331	$ 3,349
遠期外匯合約(三)	159	821	122
透過損益按公允衡量之金融負債	$ 544	$ 2,152	$ 3,471

(一) 合併公司與銀行簽訂之結構式定期存款合約，係與銀行簽訂現價匯率掛勾保本投資商品，於原始認列時將該合約整體指定為透過損益按公允價值衡量之金融資產。

(二) 於資產負債表日未適用避險會計且尚未到期之匯率選擇權合約如下：

	幣別	到期期間	合約金額
103年9月30日			
個別式選擇權	歐元兌美金	103.10.13	EUR 500仟元 /USD 680仟元
	美金兌日圓	104.3.2	USD 500仟元 /JPY 53,900仟元
102年12月31日			
個別式選擇權	日圓兌美金	103.1.7	USD 500仟元 /JPY 49,750仟元
	美金兌日圓	103.2.7	USD 200仟元 /JPY 21,200仟元
組合式選擇權	美金兌日圓	103.1.6	USD 100仟元 /JPY 8,900仟元 或
			USD 200仟元 /JPY 16,520仟元
	美金兌日圓	103.1.6	USD 100仟元 /JPY 9,100仟元 或
			USD 200仟元 /JPY 16,580仟元
	美金兌日圓	103.5.2	USD 500仟元 /JPY 50,250仟元 或
			USD 1,000仟元 /JPY 100,500仟元

（接次頁）

（承前頁）

	幣別	到期期間	合約金額
102 年 9 月 30 日			
個別式選擇權	美金兌台幣	102.10.23	USD 1,000 仟元 ／NTD30,300 仟元
	美金兌台幣	102.10.23	USD 1,000 仟元 ／NTD30,300 仟元
組合式選擇權	美金兌日圓	102.11.15	USD 200 仟元 ／JPY16,660 仟元或
			USD 400 仟元 ／JPY 33,320 仟元
	美金兌日圓	102.11.21	USD 200 仟元 ／JPY16,960 仟元或
			USD 400 仟元 ／JPY 33,920 仟元
	美金兌日圓	103.1.6	USD 300 仟元 ／JPY26,700 仟元或
			USD 600 仟元 ／JPY 49,560 仟元
	美金兌日圓	103.1.6	USD 300 仟元 ／JPY27,300 仟元或
			USD 600 仟元 ／JPY 49,740 仟元
	美金兌日圓	103.3.18	USD 1,300 仟元 ／JPY135,200 仟元或
			JPY 122,200 仟元 ／USD1,300 仟元

(三) 於資產負債表日未適用避險會計且尚未到期之遠期外匯合約如下：

	幣別	到期期間	合約金額
103 年 9 月 30 日			
賣出遠期外匯	美金兌日圓	103.10.3	USD 100 仟元 /JPY 10,362 仟元
102 年 12 月 31 日			
賣出遠期外匯	美金兌日圓	103.1.9	USD 540 仟元 /JPY 53,730 仟元
買入遠期外匯	美金兌日圓	103.1.9	USD 540 仟元 /JPY 52,581 仟元
	美金兌台幣	103.1.13	USD 350 仟元 /NTD 10,331 仟元
	美金兌台幣	103.1.28	USD 1,000 仟元 /NTD 29,425 仟元
	美金兌台幣	103.1.28	USD 1,000 仟元 /NTD 29,425 仟元
	美金兌台幣	103.2.10	USD 1,000 仟元 /NTD 29,454 仟元
	美金兌台幣	103.2.10	USD 1,000 仟元 /NTD 29,440 仟元
	美金兌台幣	103.2.12	USD 1,000 仟元 /NTD 29,420 仟元
102 年 9 月 30 日			
買入遠期外匯	美金兌日圓	102.10.29	USD 200 仟元／ JPY 19,836 仟元
買入遠期外匯	美金兌日圓	102.10.31	USD 200 仟元／ JPY 19,551 仟元
賣出遠期外匯	美金兌日圓	102.10.9	USD 500 仟元／ JPY 50,165 仟元
賣出遠期外匯	美金兌日圓	102.10.9	USD 300 仟元／ JPY 30,132 仟元
買入遠期外匯	美金兌台幣	102.12.27	USD 500 仟元／ NTD 14,800 仟元

合併公司從事遠期外匯及外幣選擇權交易之目的，主要係為規避外幣資產及負債因匯率波動產生之風險。

合併公司與銀行簽訂之組合式選擇權，係以合約形式買賣外匯的金融衍生工具，其重要條款包括多期交割和交割金額不對稱；而當指標變動超過門檻利益不會增加，損失會有槓桿倍數影響，並無避險互抵之效果。

合併公司持有之遠期外匯合約及外幣選擇權合約因不符合有效避險條件，故不適用避險會計。

透過損益按公允價值衡量之金融工具質押之資訊，參閱附註三二。

八、備供出售金融資產

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
流　動			
國內投資			
基金受益憑證	$ 216,436	$ -	$ -

九、無活絡市場之債券投資

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
流　動			
原始到期日超過3個月之定期存款	$ 87,710	$ 201,518	$ 261,201
非流動			
原始到期日超過3個月之定期存款	$ 7,975	$ 7,975	$ 7,879

無活絡市場之債券投資質押之資訊，參閱附註三二。

十、應收票據、應收帳款及其他應收款

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
應收票據			
因營業而發生	$ 70,313	$ 263	$ 1,431
非因營業而發生	-	-	-
	$ 70,313	$ 263	$ 1,431
應收帳款			
應收帳款	$ 777,417	$ 400,313	$ 534,663
減：備抵呆帳	(4,166)	(1,176)	(1,130)
	$ 773,251	$ 399,137	$ 533,533
其他應收款			
應收營業稅退稅款	$ 30,286	$ 36,481	$ 42,233
其　他	15,801	10,884	1,987
	$ 46,087	$ 47,365	$ 44,220

(一) 應收帳款及票據

於資產負債表日已逾期但合併公司尚未認列備抵呆帳之應收帳款，因其信用品質並未重大改變，合併公司管理階層認為仍可回收其金額，或合併公司對該等應收帳款已於期後收款或其他信用增強保障。

已逾期但未減損應收帳款之帳齡分析如下：

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
60 天以內	$ 132,029	$ 75,513	$ 58,819
61 至 90 天	-	6,031	37,007
91 至 180 天	706	1,678	19,304
合　計	$ 132,735	$ 83,222	$ 115,130

以上係以逾期天數為基準進行之帳齡分析。

應收帳款及催收款之備抵呆帳變動資訊如下：

	個別評估減損損失	群組評估減損損失	合　計
102 年 1 月 1 日餘額	$ 139,912	$ 44,354	$ 184,266
減：本期迴轉呆帳費用	(48,676)	(43,351)	(92,027)
減：本期實際沖銷	(20,056)	-	(20,056)
外幣換算差額	-	127	127
102 年 9 月 30 日餘額	$ 71,180	$ 1,130	$ 72,310
103 年 1 月 1 日餘額	$ 71,180	$ 1,176	$ 72,356
加：本期提列呆帳費用	438	2,986	3,424
外幣換算差額	-	4	4
103 年 9 月 30 日餘額	$ 71,618	$ 4,166	$ 75,784

催收款項帳列其他非流動資產項下。

截至 103 年 9 月 30 日暨 102 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，個別判定已減損應收帳款金額分別為 71,618 仟元、71,180 仟元及 71,180 仟元。合併公司對該等應收帳款餘額並未持有任何擔保品。

本合併公司銷貨予 Solon Nord GmbH 及 Solon S.P.A.因 Solon 集團於 100 年 12 月 15 日宣佈申請破產程序，本合併公司於 100 年 12 月 15 日及 101 年 1 月 6 日執行保證 LC 提示押匯，惟尚不獲給付，因此本合併公司於 100 年度評估對其相關之應收帳款 139,417 仟元提

列備抵呆帳。惟本合併公司於 102 年 3 月及 4 月與押匯銀行德意志銀行及 Solon S.P.A.和解，分別收回款項 55,767 仟元及 31,898 仟元，帳列營業費用減項。

已個別減損應收帳款帳齡分析如下：

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
60 天以內	$ -	$ -	$ -
61 至 90 天	-	-	-
91 至 180 天	-	-	-
181 天以上	71,618	71,180	71,180
合　計	$ 71,618	$ 71,180	$ 71,180

以上係以扣除備抵呆帳前之餘額，以逾期天數為基準進行帳齡分析。

(二) 其他應收款

於 103 年 9 月 30 日暨 102 年 12 月 31 日及 9 月 30 日資產負債表日合併公司帳列無已逾期但尚未認列備抵呆帳之其他應收款。

十一、應收（付）建造合約款

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
累計已發生成本及已認列利潤（減除已認列損失）	$ 215	$ 36,739	$ -
減：累計工程進度請款金額	-	-	-
應收建造合約款	$ 215	$ 36,739	$ -

十二、存　　貨

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
製 成 品	$ 265,306	$ 194,220	$ 155,801
在 製 品	33,336	83,000	76,099
原　　料	161,868	117,761	106,878
在途存貨	171,580	112,103	108,249
	$ 632,090	$ 507,084	$ 447,027

103 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與 1 月 1 日至 9 月 30 日之銷貨成本包括存貨跌價損失為 8,387 仟元及長期預付貨款減損損失 13,944 仟元與存貨跌價損失 9,242 仟元及長期預付貨款減損損失 13,986 仟元；102 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與 1 月 1 日至 9 月 30 日之銷貨成本分別包括

存貨淨變現價值回升利益 102 仟元及長期預付貨款減損損失 16,474 仟元與存貨淨變現價值回升利益 18,475 仟元及長期預付貨款減損損失 11,285 仟元。存貨淨變現價值回升及長期預付貨款減損回升係因存貨於市場之銷售價格上揚所致。

103 年及 102 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與 1 月 1 日至 9 月 30 日之長期預付貨款，請參閱附註十五及三三之說明。

十三、不動產、廠房及設備

	房屋及建築	機器設備	運輸設備	辦公設備	租賃改良	其他設備	未完工程	合計
成本								
102 年 1 月 1 日餘額	$ 384,198	$3,647,817	$ 5,016	$ 30,518	$ 520,793	$ 3,029	$ 151,315	$4,742,686
增添	-	108,245	-	1,657	9,248	172	4,169	123,491
處分	-	-	-	(11)	-	-	-	(11)
重分類	-	17,288	-	-	18,958	-	(19,928)	16,318
淨兌換差額	17,690	19,671	136	245	-	135	5,968	43,845
102 年 9 月 30 日餘額	$ 401,888	$3,793,021	$ 5,152	$ 32,409	$ 548,999	$ 3,336	$ 141,524	$4,926,329
累計折舊及減損								
102 年 1 月 1 日餘額	$ 20,081	$ 995,614	$ 1,834	$ 13,073	$ 182,560	$ 316	$ -	$1,213,478
折舊費用	13,533	347,959	778	4,432	52,231	439	-	419,372
處分	-	-	-	(6)	-	-	-	(6)
淨兌換差額	956	2,844	41	67	-	14	-	3,922
102 年 9 月 30 日餘額	$ 34,570	$1,346,417	$ 2,653	$ 17,566	$ 234,791	$ 769	$ -	$1,636,766
102 年 1 月 1 日淨額	$ 364,117	$2,652,203	$ 3,182	$ 17,445	$ 338,233	$ 2,713	$ 151,315	$3,529,208
102 年 9 月 30 日淨額	$ 367,318	$2,446,604	$ 2,499	$ 14,843	$ 314,208	$ 2,567	$ 141,524	$3,289,563
成本								
103 年 1 月 1 日餘額	$ 409,458	$4,027,383	$ 5,207	$ 35,372	$ 555,480	$ 45,081	$ 98,759	$5,176,740
增添	-	151,278	-	276	5,557	680	12,606	170,397
處分	-	-	-	(19)	-	-	-	(19)
重分類	-	38,225	-	-	3,592	-	(3,592)	38,225
淨兌換差額	1,249	2,001	9	18	-	138	290	3,705
103 年 9 月 30 日餘額	$ 410,707	$4,218,887	$ 5,216	$ 35,647	$ 564,629	$ 45,899	$ 108,063	$5,389,048
累計折舊及減損								
103 年 1 月 1 日餘額	$ 39,787	$1,446,701	$ 2,941	$ 19,221	$ 249,524	$ 937	$ -	$1,759,111
折舊費用	13,737	302,120	784	4,620	45,210	706	-	367,177
處分	-	-	-	(12)	-	-	-	(12)
淨兌換差額	245	526	11	19	-	9	-	810
103 年 9 月 30 日餘額	$ 53,769	$1,749,347	$ 3,736	$ 23,848	$ 294,734	$ 1,652	$ -	$2,127,086
103 年 1 月 1 日淨額	$ 369,671	$2,580,682	$ 2,266	$ 16,151	$ 305,956	$ 44,144	$ 98,759	$3,417,629
103 年 9 月 30 日淨額	$ 356,938	$2,469,540	$ 1,480	$ 11,799	$ 269,895	$ 44,247	$ 108,063	$3,261,962

不動產、廠房及設備係以直線基礎按下列耐用年數計提折舊：

房屋及建築	20年
機器設備	
系統設備工程	18至20年
太陽能設備	4至10年
儀器設備	5至6年
運輸設備	4至6年
辦公設備	3至6年
租賃改良	6至8年
其他設備	3至10年

合併公司設定質押作為借款擔保之不動產、廠房及設備金額，請參閱附註三二。

十四、預付租金

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
流　動	$ 3,942	$ 3,930	$ 3,861
非流動	171,802	174,228	172,147
	$ 175,744	$ 178,158	$ 176,008

截至103年9月30日暨102年12月31日及9月30日止，預付租金係位於中國大陸之土地使用權。

合併公司設定質押作為借款擔保之預付租金金額，請參閱附註三二。

十五、其他資產

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
流　動			
預付貨款及費用(附註三三)	$ 348,409	$ 142,007	$ 135,405
其他金融資產－銀行承兌匯票（附註三二）	-	-	71,960
其他金融資產－受限制活期存款（附註三二）	56,882	-	-
留抵稅額	136,007	147,251	156,931
	$ 541,298	$ 289,258	$ 364,296
非流動			
預付設備款	$ 101,208	$ 82,508	$ 248,112
存出保證金（附註三二及三三）	538,296	649,281	702,354
其他非流動資產			
長期預付貨款（附註三三）	171,918	200,280	199,916
其他非流動資產－其他	533	-	-
催收款項（附註十）	71,618	71,180	71,180
備抵呆帳－催收款項	(71,618)	(71,180)	(71,180)
	$ 811,955	$ 932,069	$ 1,150,382

(一) 預付貨款及長期預付貨款

合併公司之預付貨款及長期預付貨款，主係與中美矽晶製品股份有限公司簽訂購料合約，依合約規定支付的預付貨款。

截至 103 年 9 月 30 日暨 102 年 12 月 31 日及 9 月 30 日長期預付貨款已分別提列減損損失 51,932 仟元、37,946 仟元及 46,927 仟元，請參閱附註三三之查核說明。103 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與 1 月 1 日至 9 月 30 日之長期預付貨款減損損失為 13,944 仟元及 13,986 仟元，102 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與 1 月 1 日至 9 月 30 日長期預付貨款減損損失為 16,474 仟元及 11,285 仟元，帳列營業成本項下，請參閱附註十二之說明。

(二) 預付設備款

合併公司之預付設備款，係為購置供應商品或勞務之生產使用之不動產、廠房及設備，依訂購合約預先支付之款項。

(三) 存出保證金

合併公司存出保證金，主係與 SunEdison Products Singapore Pte, Ltd.（原名 MEMC Singapore Pte, Ltd.）簽訂購料合約，依合約規定支付的可扣抵進貨款購料保證金。截至 103 年 9 月 30 日暨 102 年 12 月 31 日及 9 月 30 日可扣抵進貨款購料保證金餘額分別為 508,609 仟元、606,540 仟元及 662,959 仟元。

截至 103 年 9 月 30 日暨 102 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止存出保證金已提列減損損失 760,763 仟元，請參閱附註三三之說明。

(四) 催 收 款

合併公司催收款係逾期 1 年以上之應收款項，已認列 100%備抵呆帳，請參閱附註十之說明。

(五) 其他金融資產－承兌匯票

合併公司其他金融資產－承兌匯票，係提供向銀行借款之擔保品，請參閱附註三二之說明。

(六) 其他金融資產－受限制活期存款

合併公司其他金融資產－受限制活期存款，主係提供向銀行購買金融產品所質押之活期存款，請參閱附註三二之說明。

十六、借　　款

(一) 短期借款

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
無擔保借款			
一信用額度借款	$ 250,000	$ 635,639	$ 724,681
擔保借款（附註三二）			
一銀行借款	433,115	329,550	406,510
	$ 683,115	$ 965,189	$ 1,131,191

銀行週轉性借款之利率於 103 年 9 月 30 日暨 102 年 12 月 31 日及 9 月 30 日分別為 1.83%～6.60%、1.00%～6.30%及 1.28%～6.60%。

(二) 長期借款

擔保借款（附註三一）	到　期　日	重　大　條　款	有效利率	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
上海商業儲蓄銀行	105年7月15日	借款總額 250,000 仟元，自 101 年 1 月 16 日起，每 3 個月為一期，分 20 期償還，利息月付。	2.375%	$ 105,240	$ 144,720	$ 157,880
台灣銀行南港分行	104年6月10日	借款總額 433,500 仟元，自 100 年 12 月 10 日起，每半年為一期，分 8 期償還，利息月付。	2.33%	108,375	162,562	216,750
CHAILEASE FINANCE(B.V.I.) COMPANY, LTD. (1)	104年4月18日	借款總額 145,200 仟元，自 102 年 1 月 18 日起，每 3 個月為一期，分 10 期償還，利息月付。	2.928%	49,329	104,968	115,139
中租迪和股份有限公司	104年4月30日（已於103年5月15日提前償還）	借款總額 220,000 仟元，自 102 年 4 月 30 日起，分 24 期按月攤還本息。	2.988%	-	148,121	175,243
ROBINA VENTURES INCORPORATION	104年10月25日	借款總額 67,299 仟元，自 103 年 1 月 25 日起，分 8 期攤還本息。	3.92%	35,032	67,299	-
永豐商業銀行	118年4月3日	借款總額 62,005 仟元，自 103 年 4 月 30 日起，分 180 期償還，按月攤還本息。	2.88%	60,452	-	-
臺灣中小企業銀行	106年9月29日	借款總額 100,000 仟元，自 103 年 9 月 29 日起，分 36 期償還，按月攤還本息。	2.75%	100,000	-	-
無　擔　保　借　款						
CHAILEASE FINANCE(B.V.I.) COMPANY, LTD. (2)	105年9月13日	借款總額 180,872 仟元，自 103 年 3 月 13 日起，每 3 個月為一期，分 10 期償還本息。	2.3846%	145,711	-	-
減：一年內到期之長期借款				(354,393)	(389,115)	(337,584)
				$ 249,746	$ 238,555	$ 327,428

合併公司為長期借款而提供質（抵）押擔保及開立保證票據之情形，請參閱附註三二及三三。

十七、應付票據及應付帳款

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
應付票據			
因營業而發生	$ 232,301	$ 265,735	$ 222,628
非因營業而發生	940	2,579	-
	$ 233,241	$ 268,314	$ 222,628
應付帳款			
因營業而發生	$ 874,613	$ 531,262	$ 676,728

應付帳款

購買原物料及商品之平均賒帳期間為 30～120 天，帳列應付帳款均不加計利息。合併公司定期檢視尚未付款狀況，以確保所有應付款於預先約定之信用期限內償還。

十八、其他負債

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
流　動			
其他應付款			
應付設備款	$ 139,653	$ 114,031	$ 417,944
應付關係人借款(一)	-	505,899	485,191
應付薪資及獎金	41,917	44,605	35,919
應付員工紅利及董監酬勞	20,143	23,602	-
其　他	160,453	138,597	137,941
	$ 362,166	$ 826,734	$ 1,076,995
非流動			
遞延收入			
政府補助(二)	$ 205,383	$ 210,943	$ 210,400

(一) 合併公司與關係人借款相關資訊請參閱附註三一。

(二) 合併公司取得政府補助並產生相關之遞延收入，請參閱附註二六。

十九、退職後福利計畫

確定福利計畫相關退休金費用係以 102 年及 101 年 12 月 31 日精算決定之退休金成本率在各期間分別認列於下列項目：

	103年7月1日至9月30日	102年7月1日至9月30日	103年1月1日至9月30日	102年1月1日至9月30日
營業成本	$ 102	$ -	$ 302	$ -
推銷費用	$ 11	$ -	$ 36	$ -

二十、權　　益

(一) 股　　本

普 通 股

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
額定股數（仟股）	400,000	250,000	250,000
額定股本	$ 4,000,000	$ 2,500,000	$ 2,500,000
已發行且已收足股款之股數（仟股）	276,545	231,045	206,045
已發行股本	$ 2,765,450	$ 2,310,450	$ 2,060,450

已發行之普通股每股面額為 10 元，每股享有一表決權及收取股利之權利。

額定股本中供發行可轉換公司債及員工認股權憑證所保留之股本分別為 0 仟股及 2,000 仟股。

102 年 11 月 8 日董事會決議私募方式辦理現金增資發行新股 25,000 仟股，每股面額 10 元，並以每股新台幣 19 元溢價發行，增資後實收股本為 2,310,450 仟元。上述現金增資案經董事會決議，以 102 年 11 月 15 日為增資基準日。

為充實營運資金及償還銀行借款，本公司於 103 年 2 月 24 日召開之董事會決議依 102 年 6 月 28 日股東常會之授權，辦理現金增資發行普通股 4,000 至 5,000 萬股，每股面額新台幣 10 元整，採詢價圈購方式辦理公開承銷。上述現金增資案業經行政院金融監督管理委員會證券期貨局於 103 年 3 月 21 日核准申報生效。公司決議本次現金增資發行普通股 45,500 仟股，每股發行價格為 22.95 元，以 103 年 4 月 8 日為增資基準日。

(二) 資本公積

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
得以彌補虧損、發放現金或撥充股本			
股票發行溢價	$ 1,411,592	$ 811,902	$ 586,902

此類資本公積得用以彌補虧損，亦得於公司無虧損時，用以發放現金或撥充股本，惟撥充股本時每年以實收股本之一定比率為限。

(三) 保留盈餘及股利政策

依本公司之章程規定，年度決算如有當期淨利時，應先彌補虧損後，次提 10%為法定盈餘公積，並依法或主管機關規定提列特別盈餘公積後，其餘連同期初累積未分配盈餘及當年度未分配盈餘調整數額由董事會擬具盈餘分配案，提請股東會決議分派之，其中員工紅利以當年度稅後淨利 5%~15%分配，董監事酬勞以當年度稅後淨利 1%~3%分配，另員工分配股票紅利之對象，得包括符合一定條件之從屬公司員工。

本公司所營事業目前處於營運成長階段，須以保留盈餘因應營運成長及投資需求之資金，現階段採取剩餘股利政策，並考量平衡股利以不低於當年度稅後淨利之 50%分配，但董事會得考量公司實際資金狀況後，擬具分配議案提請股東會決議。

盈餘之分派採現金股利及股票股利兩種方式配合發放，惟其中現金股利不低於股利總額 20%，但股東會得視未來資金規劃調整之。

103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日應付員工紅利估列金額分別為 15,554 仟元及 12,560 仟元；應付董監酬勞估列金額分別為 3,111 仟元及 2,512 仟元。前述員工紅利及董監酬勞，係分別按稅後淨利(已扣除員工分紅及董監酬勞之金額）之 10%及 2%計算。年度終了後，年度合併財務報告通過發布日前經董事會決議之發放金額有重大變動時，該變動調整原提列年度費用，年度合併財務報告通過發布日後若金額仍有變動，則依會計估計變動處理，於次一年度調整入帳。如股東會決議採股票發放員工紅利，股票紅利股數按決議分紅之金額除以股票公允價值決定。就計算股票紅利股數而言，股票公允價值係指股東會決議日前一日之收盤價（考量除權除息之影響後）。

本公司依金管證發字第 1010012865 號函、金管證發字第 1010047490 號函及「採用國際財務報導準則（IFRSs）後，提列特別盈餘公積之適用疑義問答」規定提列及迴轉特別盈餘公積。嗣後其他股東權益減項餘額有迴轉時，得就迴轉部分分派盈餘。

法定盈餘公積應提撥至其餘額達公司實收股本總額時為止。法定盈餘公積得用以彌補虧損。公司無虧損時，法定盈餘公積超過實收股本總額25%之部分除得撥充股本外，尚得以現金分配。

分配未分配盈餘時，除屬非中華民國境內居住者之股東外，其餘股東可獲配按股利分配日之稅額扣抵比率計算之股東可扣抵稅額。

本公司分別於103年6月27日及102年6月28日舉行股東常會，決議通過102及101年度盈餘分配案、員工紅利及董監事酬勞如下：

	盈餘分配案		每股股利（元）	
	102年度	101年度	102年度	101年度
法定盈餘公積	$ 21,853	$ -	$ -	$ -
特別盈餘公積	-	-	-	-
現金股利	138,627	-	0.5	-
股票股利	-	-	-	-

	102年度		101年度	
	現金紅利	股票紅利	現金紅利	股票紅利
員工紅利	$ 19,668	$ -	$ -	$ -
董監事酬勞	3,934	-	-	-

本公司102年6月28日股東常會決議以法定盈餘公積70,064仟元及資本公積1,701,887仟元彌補虧損。

本公司102年6月28日股東常會決議不配發101年度員工紅利及董監事酬勞。

103年6月27日及102年6月28日股東常會決議配發之員工紅利及董監事酬勞與102及101年度合併財務報告認列之員工分紅及董監事酬勞金額並無差異。

有關本公司股東會決議之員工紅利及董監酬勞資訊，請至台灣證券交易所「公開資訊觀測站」查詢。

(四) 其他權益項目

1. 國外營運機構財務報表換算之兌換差額

	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
期初餘額	$ 1,759	($ 15,284)
換算國外營運機構淨資產所產生之兌換差額	2,899	14,799
換算國外營運機構淨資產所產生利益之相關所得稅	(493)	(2,516)
期末餘額	$ 4,165	($ 3,001)

2. 備供出售金融資產未實現利益

	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
期初餘額	$ -	$ -
備供出售金融資產未實現損益	436	-
期末餘額	$ 436	$ -

二一、收　　入

	103年7月1日 至9月30日	102年7月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
商品銷售收入	$ 1,289,644	$ 1,231,910	$ 4,646,095	$ 3,668,649

二二、繼續營業單位綜合損益

(一) 其他收入

	103年7月1日 至9月30日	102年7月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
利息收入－銀行存款	$ 1,165	$ 893	$ 2,864	$ 3,038
租金收入－營業租賃	3	4	13	21
權利金收入	166	-	701	-
政府補助收入（附註二六）	1,986	3,491	7,484	5,964
理賠收入	37,577	-	37,577	-
	$ 40,897	$ 4,388	$ 48,639	$ 9,023

理賠收入係保險公司賠償合併公司機械設備因酸蝕意外所導致之損失，最終理賠總金額為 62,505 仟元，經修復及鑑定後已恢復生產效能，扣除相關維修成本後餘額 37,577 仟元，列入其他收入項下。

(二) 其他利益及損失

	103年7月1日 至9月30日	102年7月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
處分不動產、廠房及設備損失	$ -	$ -	($ 7)	$ -
處分備供出售金融資產損益	361	-	711	-
淨外幣兌換損益	8,959	(5,005)	(3,564)	26,754
持有供交易之金融資產利益	585	5,873	2,936	6,360
持有供交易之金融負債損失	(650)	1,289	(978)	(20,218)
指定透過損益按公允價值衡量之金融資產評價利益	4,031	-	10,098	-
其　他	1,881	674	3,595	3,954
	$ 15,167	$ 2,831	$ 12,791	$ 16,850

(三) 財務成本

	103年7月1日 至9月30日	102年7月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
銀行借款利息	$ 12,486	$ 15,719	$ 41,792	$ 46,489
向關係人借款利息	862	4,448	8,944	13,237
	$ 13,348	$ 20,167	$ 50,736	$ 59,726

合併公司 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日皆無利息資本化情形。

(四) 折舊及攤銷

	103年7月1日 至9月30日	102年7月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
不動產、廠房及設備	$ 123,126	$ 117,505	$ 367,177	$ 419,372
預付租金	972	879	2,931	2,889
無形資產	205	526	598	1,534
合　計	$ 124,303	$ 118,910	$ 370,706	$ 423,795
折舊費用依功能別彙總				
營業成本	$ 115,260	$ 109,912	$ 343,565	$ 396,576
營業費用	7,866	7,593	23,612	22,796
	$ 123,126	$ 117,505	$ 367,177	$ 419,372
攤銷費用依功能別彙總				
營業成本	$ 64	$ 107	$ 195	$ 270
推銷費用	2	1	5	6
管理費用	1,106	1,292	3,315	4,131
研發費用	5	5	14	16
	$ 1,177	$ 1,405	$ 3,529	$ 4,423

(五) 員工福利費用

	103年7月1日 至9月30日	102年7月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
短期員工福利	$ 101,070	$ 107,339	$ 362,433	$ 282,134
退職後福利				
確定提撥計畫	3,224	3,082	9,841	8,631
確定福利計畫	113	-	338	-
員工福利費用合計	$ 104,407	$ 110,421	$ 372,612	$ 290,765
依功能別彙總				
營業成本	$ 79,606	$ 88,970	$ 283,763	$ 227,574
營業費用	24,801	21,451	88,849	63,191
	$ 104,407	$ 110,421	$ 372,612	$ 290,765

(六) 非金融資產減損損失（迴轉利益）

	103年7月1日 至9月30日	102年7月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
存貨(包含於營業成本)	$ 8,387	($ 102)	$ 9,242	($ 18,475)
長期預付款（包含於營業成本）	13,944	16,474	13,986	11,285
	$ 22,331	$ 16,372	$ 23,228	($ 7,190)

二三、<u>繼續營業單位所得稅</u>

(一) 認列於損益之所得稅

所得稅利益之主要組成項目如下：

	103年7月1日 至9月30日	102年7月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
當期所得稅				
當期產生者	$ 30	($ 19)	$ 5,845	($ 9)
遞延所得稅				
當期產生者	(2,827)	(7,228)	(10,341)	(13,246)
認列於損益之所得稅利益	($ 2,797)	($ 7,247)	($ 4,496)	($ 13,255)

(二) 認列於其他綜合損益之所得稅

	103年7月1日 至9月30日	102年7月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
<u>遞延所得稅</u>				
當期產生者				
一國外營運機構財務報表之換算	($ 1,758)	$ 611	($ 493)	($ 2,516)

(三) 兩稅合一相關資訊

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
未分配盈餘			
86 年度以前未分配盈餘	$ -	$ -	$ -
87 年度以後未分配盈餘	251,841	241,375	162,222
	$ 251,841	$ 241,375	$ 162,222
股東可扣抵稅額帳戶餘額	$ 33,157	$ 33,157	$ 33,157

102 年度盈餘分配適用之稅額扣抵比率為 13.74%，101 年度因為累積虧損，故無盈餘分配之稅額扣抵比率。

依所得稅法規定，本公司分配屬於 87 年度(含)以後之盈餘時，本國股東可按股利分配日之稅額扣抵比率計算可獲配之股東可扣抵稅額。由於實際分配予股東之可扣抵稅額，應以股利分配日之股東可扣抵稅額帳戶餘額為準，因此本公司預計 102 年度盈餘分配之稅額扣抵比率可能與將來實際分配予股東時所適用之稅額扣抵比率有所差異。

依台財稅字第 10204562810 號規定，首次採用 IFRSs 之當年度計算稅額扣抵比率時，其帳載累積未分配盈餘應包含因首次採用國際財務報導準則產生之保留盈餘淨增加數或淨減少數。

(四) 所得稅核定情形

本公司之營利事業所得稅申報除 102 年度外，截至 101 年度以前之申報案件業經稅捐稽徵機關核定。

(五) 本公司 96 年度新興重要策略性產業機器設備之投資計劃，業於 96 年 11 月 9 日取得經濟部工業局工証電字第 09600881440 號函核准，並自 98 年 6 月 30 日起連續 5 年免徵營利事業所得稅。

二四、每股盈餘

單位：每股元

	103年7月1日 至9月30日	102年7月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
基本每股盈餘				
來自繼續營業單位	($ 0.04)	$ 0.29	$ 0.65	$ 0.68
稀釋每股盈餘				
來自繼續營業單位	($ 0.04)	$ 0.29	$ 0.65	$ 0.67

用以計算每股盈餘之盈餘及普通股加權平均股數如下：

本期淨利

	103年7月1日 至9月30日	102年7月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
用以計算基本每股盈餘之淨利	($ 11,547)	$ 60,545	$ 170,946	$ 139,381
用以計算稀釋每股盈餘之淨利	($ 11,547)	$ 60,545	$ 170,946	$ 139,381

股　　數

單位：仟股

	103年7月1日 至9月30日	102年7月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
用以計算基本每股盈餘之普通股加權平均股數	276,545	206,045	261,378	206,045
具稀釋作用潛在普通股之影響：				
員工分紅	-	860	1,306	860
用以計算稀釋每股盈餘之普通股加權平均股數	276,545	206,905	262,684	206,905

若合併公司得選擇以股票或現金發放員工分紅，則計算稀釋每股盈餘時，假設員工分紅將採發放股票方式，並於該潛在普通股具有稀釋作用時計入加權平均流通在外股數，以計算稀釋每股盈餘。於次年度股東會決議員工分紅發放股數前計算稀釋每股盈餘時，亦繼續考量該等潛在普通股之稀釋作用。合併公司之員工分紅，因具反稀釋作用將減少每股虧損金額，故未納入 103 年 7 月 1 日至 9 月 30 日稀釋每股虧損之計算。

二五、股份基礎給付協議

合併公司於 103 年 4 月辦理現金增資發行新股，保留發行新股總額 10%由本公司員工認購，以 7 月 1 日為給與日，員工認股權之相關資訊揭露如下：

	103年1月1日至9月30日	
員工認股權	單位（仟）	加權平均執行價格（元）
期初流通在外	-	$ -
本期給與	4,550	22.95
本期放棄	-	
本期執行	(4,550)	
本期逾期失效	-	
期末流通在外	-	
期末可執行	-	
本期給與之認股權加權平均公允價值（元）	$ 25.25	

二六、政府補助

合併公司之太極能源科技（昆山）有限公司，97 年於昆山經濟技術開發區設廠製造太陽能電池，該區管理委員會為提供優惠之投資條件並考慮到太極能源科技（昆山）有限公司之投資情況，以及所取得土地使用權之地質情況，同意一次性補助基礎建設費 155,756 仟元，並依土地使用權使用期限 50 年分年攤銷。截至 103 年及 102 年 9 月 30 日止，攤銷後新台幣餘額為 142,543 仟元及 142,757 仟元，帳列長期遞延收入。

本公司建造桃園中壢廠太陽能發電系統工程，已於 100 年 10 月完成驗收，並獲得經濟部能源局補助款 76,616 仟元，並依太陽能發電系統工程經濟效益年限 16 年分年攤銷，截至 103 年及 102 年 9 月 30 日帳列長期遞延收入 62,840 仟元及 67,643 仟元。

二七、非現金交易

合併公司於103年及102年1月1日至9月30日進行下列非現金交易之投資及籌資活動：

(一) 合併公司於103年及102年1月1日至9月30日購置不動產、廠房及設備之應付設備款及其他應付款—關係人，分別減少26,837仟元及增加52,459仟元暨減少27,365仟元及增加23,936仟元。

(二) 合併公司於103年及102年9月30日將長期借款重分類至一年內到期之長期借款分別為354,393仟元及337,584仟元。

(三) 合併公司於103年及102年1月1日至9月30日將預付設備款及應收建造合約款重分類至不動產、廠房及設備分別為1,486仟元及36,739仟元與16,318仟元。

二八、期中營運之季節性或週期性之解釋

太陽能產業具有季節性與地域性之特質，地域性特質是依客戶所在地之日照時間及強度所影響。由於主要客戶大都在歐洲及亞洲，故季節性與地域性並無太大差異，依歷史經驗可知合併公司之銷貨高峰期約在於每年4月1日至9月30日之夏季期間。

二九、營業租賃協議

營業租賃係合併公司承租土地、廠房、辦公室及機器設備，租賃期間為2至3年，於租賃期間終止時，合併公司對租賃項目無優惠承購權。

三十、金融工具

(一) 公允價值之資訊

1. 非按公允價值衡量之金融工具

除下表所列外，合併公司管理階層認為非按公允價值衡量之金融資產及金融負債之帳面金額趨近其公允價值：

	103年9月30日		102年12月31日		102年9月30日	
	帳面金額	公允價值	帳面金額	公允價值	帳面金額	公允價值
金融負債						
以攤銷後成本衡量之金融負債：						
長期借款及一年內到期之長期借款	$ 604,139	$ 582,954	$ 627,670	$ 624,144	$ 665,012	$ 660,194

2. 認列於合併資產負債表之公允價值衡量

合併公司以公允價值衡量之金融資產及金融負債，其衡量方式依照公允價值可觀察程度分為第一至三級。

(1) 第一級公允價值衡量係指以來自活絡市場相同資產或負債之公開報價（未經調整）。

(2) 第二級公允價值衡量係指除第一級之公開報價外，以屬於該資產或負債直接（亦即價格）或間接（亦即由價格推導而得）可觀察之輸入值推導公允價值。

(3) 第三級公允價值衡量係指評價技術係非以可觀察市場資料為基礎之資產或負債之輸入值（不可觀察之輸入值）推導公允價值。

103 年 9 月 30 日

	第一級	第二級	第三級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
匯率選擇權	$ -	$ -	$ 28	$ 28
結構式存款	-	169,062	-	169,062
	$ -	$ 169,062	$ 28	$ 169,090
備供出售金融資產				
基金受益憑證	$ 216,436	$ -	$ -	$ 216,436
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
匯率選擇權	$ -	$ -	$ 385	$ 385
遠期外匯合約	-	159	-	159
	$ -	$ 159	$ 385	$ 544

102 年 12 月 31 日

	第一級	第二級	第三級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
匯率選擇權	$ -	$ -	$ 30	$ 30
遠期外匯合約	-	3,071	-	3,071
結構式存款	-	161,119	-	161,119
	$ -	$ 164,190	$ 30	$ 164,220
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
匯率選擇權	$ -	$ -	$ 1,331	$ 1,331
遠期外匯合約	-	821	-	821
	$ -	$ 821	$ 1,331	$ 2,152

102 年 9 月 30 日

	第一級	第二級	第三級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
匯率選擇權	$ -	$ -	$ 4,033	$ 4,033
遠期外匯合約	-	635	-	635
	$ -	$ 635	$ 4,033	$ 4,668
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
匯率選擇權	$ -	$ -	$ 3,349	$ 3,349
遠期外匯合約	-	122	-	122
	$ -	$ 122	$ 3,349	$ 3,471

103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日無第一級與第二級公允價值衡量間移轉之情形。

3. 金融資產與負債以第三級公允價值衡量之調節：

103 年 9 月 30 日

	透過損益按公允價值衡量之金融資產	透過損益按公允價值衡量之金融負債
期初餘額	$ 30	($ 1,331)
總利益或損失		
一認列於損益	(2)	(349)
處分／結清	-	1,295
期末餘額	$ 28	($ 385)

102 年 9 月 30 日

	透過損益按公允價值衡量之金融資產	透過損益按公允價值衡量之金融負債
期初餘額	$ 374	$ 5,904
總利益或損失		
一認列於損益	4,525	20,047
處分／結清	(866)	(22,602)
期末餘額	$ 4,033	$ 3,349

4. 衡量公允價值所採用之評價技術及假設

金融資產及金融負債之公允價值係依下列方式決定：

(1) 具標準條款與條件並於活絡市場交易之金融工具公允價值係參照市場報價決定。

(2) 有活絡市場公開報價之衍生工具係以市場價格為公允價值。無市場價格可供參考之選擇權衍生工具係採用選擇權定價模式估算公允價值。無市場價格可供參考之非選擇權衍生工具係以存續期間適用之殖利率曲線採用現金流量折現分析估算公允價值。遠期外匯合約公允價值係以遠期匯率報價及由配合合約到期期間之報價利率推導之殖利率曲線衡量。無市場價格可供參考之衍生工具公允價值估算亦考慮反應避險及交易成本、市場波動性、交易對手違約風險、作業、流動及買賣價差等所有報價相關之風險因素。

(3) 上述以外之其他金融工具公允價值係依現金流量折現分析之一般公認定價模式決定。

(二) 金融工具之種類

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
金融資產			
透過損益按公允價值衡量			
持有供交易	$ 28	$ 3,101	$ 4,668
指定為透過損益按公允價值衡量	169,062	161,119	-
放款及應收款（註1）	2,243,892	1,888,290	2,090,681
金融負債			
透過損益按公允價值衡量			
持有供交易	544	2,152	3,471
以攤銷後成本衡量（註2）	2,695,263	3,154,588	3,736,683

註1：餘額係包含現金及約當現金、無活絡市場之債券投資、應收票據、應收帳款及其他應收款、存出保證金及其他金融資產－流動等以攤銷後成本衡量之放款及應收款。

註2：餘額係包含短期借款、應付票據、應付帳款、其他應付款、存入保證金及長期借款等以攤銷後成本衡量之金融負債。

(三) 財務風險管理目的與政策

本公司財務風險管理目標，係為管理與營運活動相關之市場風險（包含匯率風險、利率風險及其他價格風險）、信用風險及流動性風險。

合併公司主要金融工具包括應收帳款、應付帳款及借款等。合併公司另透過衍生金融工具規避暴險，以減輕該等風險之影響。衍生金融工具之運用受合併公司之取得或處分資產處理程序所規範，金額重大者，依規定提報董事會。內部稽核人員持續地針對政策之遵循與暴險額度進行複核。合併公司並未以投機目的而進行金融工具（包括衍生金融工具）之交易。

1. 市場風險

合併公司之營運活動使合併公司承擔之主要財務風險為外幣匯率變動風險（參閱下述(1)）以及利率變動風險（參閱下述(2)）。合併公司從事各式衍生金融工具以管理所承擔之外幣匯率風險，包括以遠期外匯合約及匯率選擇權規避因收付款及購買原物料之幣別不同而產生之匯率風險。

合併公司有關金融工具市場風險之暴險及其對該等暴險之管理與衡量方式並無改變。

(1) 匯率風險

合併公司從事外幣計價之銷貨與進貨交易，因而使合併公司產生匯率變動暴險。合併公司之銷售額中約有 90%非以發生交易集團個體之功能性貨幣計價，而成本金額中約有 70%非以發生交易集團個體之功能性貨幣計價。合併公司匯率暴險之管理係於政策許可之範圍內，利用遠期外匯合約及匯率選擇權管理風險。

合併公司於資產負債表日非功能性貨幣計價之貨幣性資產與貨幣性負債帳面金額（包含合併財務報表中已沖銷之非功能性貨幣計價之貨幣性項目）以及具匯率風險暴險之衍生工具帳面金額，參閱附註三二。

敏感度分析

合併公司主要受到美金匯率波動之影響。

下表詳細說明當新台幣（功能性貨幣）對各攸關外幣之匯率增加及減少 5%時，合併公司之敏感度分析。5%係為公司內部向主要管理階層報告匯率風險時所使用之敏感度比率，亦代表管理階層對外幣匯率之合理可能變動範圍之評估。敏感度分析僅包括流通在外之外幣貨幣性項目，並將其期末之換算以匯率變動 5%予以調整。敏感度分析之範圍包括借款中非以債權人或借款人功能性貨幣計價者。下表之正數係表示當新台幣相對於各相關貨幣升值 5%時，將使稅前淨利或權益減少之金額；當新台幣相對於各相關外幣貶值 5%時，其對稅前淨利或權益之影響將為同金額之負數。

	美金之影響	
	103年1月1日 至9月30日	102年1月1日 至9月30日
損　益	($ 43,736)	($ 10,408) (i)
損　益	$ 26	($ 60) (ii)

(i) 主要源自於合併公司於資產負債表日尚流通在外且未進行現金流量避險之美金計價應收、應付款項及借款。

(ii) 主要源自於合併公司持有之透過損益按公允價值衡量之金融資產。

合併公司於本期對匯率敏感度上升，主係因以美金計價之應收帳款增加所致。管理階層認為敏感度分析無法代表匯率固有風險，因資產負債表日之外幣暴險無法反映年中暴險情形。

(2) 利率風險

因合併公司內之個體同時以浮動利率借入資金，因而產生利率暴險。合併公司藉由維持一適當之固定利率組合來管理利率風險。合併公司定期評估避險活動，使其與利

率觀點及既定之風險偏好一致，以確保採用最符合成本效益之避險策略。

合併公司於資產負債表日受利率暴險之金融資產及金融負債帳面金額如下：

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
具公允價值利率風險			
金融資產	$ 95,685	$ 209,493	$ 269,080
具現金流量利率風險			
金融資產	663,378	582,751	468,103
金融負債	1,287,254	1,592,859	1,796,203

合併公司因持有變動利率銀行借款而面臨現金流量利率風險之暴險。此等情況符合合併公司維持浮動利率借款以降低利率公允價值風險之政策。合併公司之現金流量利率風險主要係因新台幣計價借款相關之指標利率波動。

敏感度分析

下列敏感度分析係依衍生及非衍生工具於資產負債表日之利率暴險而決定。對於浮動利率負債，其分析方式係假設資產負債表日流通在外之負債金額於報導期間皆流通在外。集團內部向主要管理階層報告利率時所使用之變動率為利率增加或減少 1%，此亦代表管理階層對利率之合理可能變動範圍之評估。

若利率增加／減少 1%，在所有其他變數維持不變之情況下，合併公司 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之稅前淨利分別減少／增加 4,679 仟元及 9,961 仟元，主要因為合併公司之變動利率借款、銀行存款所面臨現金流量利率風險之暴險。

(3) 其他價格風險

合併公司因受益憑證投資而產生證券價格暴險。本公司管理階層藉由持有不同風險投資組合以管理風險。此外，本公司指派特定團隊監督價格風險並評估何時須增加被避風險之避險部位。

敏感度分析

下列敏感度分析係依資產負債表日之權益價格暴險進行。

若權益價格上漲／下跌 3%，103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日綜合損益將因備供出售金融資產公允價值之變動分別增加／減少 6,493 仟元及 0 仟元。

合併公司 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日對備供出售金融資產價格風險之敏感度上升，主因合併公司於本年度增加購買備供出售金融資產所致。

2. 信用風險

信用風險係指交易對方拖欠合約義務而造成集團財務損失之風險。截至資產負債表日，合併公司可能因交易對方未履行義務及合併公司提供財務保證造成財務損失之最大信用風險暴險主要係來自於合併資產負債表所認列之金融資產帳面金額。

合併公司採行之政策係多與信譽卓著之對象進行交易，並於必要情形下取得足額之擔保以減輕因拖欠所產生財務損失之風險。另外，合併公司亦使用其他公開可取得之財務資訊及彼此交易記錄對主要客戶進行評等。合併公司持續監督信用暴險以及交易對方之信用評等，於每次出貨前檢視客戶之帳款是否逾期及近期收款狀況，並透過合併公司內部人員監控放行，以降低發生信用風險之可能。此外，合併公司於資產負債表日會逐一複核應收款項之可回收金額以確保無法回收之應收款項已提列適當減損損失。據此，本公司管理階層認為合併公司之信用風險已顯著減少。

應收帳款之對象涵蓋眾多客戶，分散於不同產業及地理區域。合併公司持續地針對應收帳款客戶之財務狀況進行評估。

3. 流動性風險

合併公司平時係透過定期管理及維持足夠部位之現金及約當現金以支應合併公司營運並減輕現金流量波動之影響。合併

公司管理階層監督銀行融資額度使用狀況並確保借款合約條款之遵循。

銀行借款對合併公司而言係為一項重要流動性來源。截至103年9月30日暨102年12月31日及9月30日止，合併公司未動用之融資額度，參閱下列(3)融資額度之說明。

(1) 非衍生金融負債之流動性及利率風險表

非衍生金融負債剩餘合約到期分析係依合併公司最早可能被要求還款之日期，按金融負債未折現現金流量（包含本金及估計利息）編製。因此，合併公司可被要求立即還款之銀行借款，係列於下表最早之期間內，不考慮銀行立即執行該權利之機率；其他非衍生金融負債到期分析係依照約定之還款日編製。

以浮動利率支付之利息現金流量，其未折現之利息金額係依據資產負債表日殖利率曲線推導而得。

103年9月30日

	短於1年	1至3年	4至5年	5年以上
非衍生金融負債				
浮動利率工具				
短期借款	$ 708,755	$ -	$ -	$ -
長期借款	363,666	216,723	13,979	36,208
無附息負債				
應付票據	233,241	-	-	-
應付帳款	874,613	-	-	-
其他應付款	300,106	-	-	-
存入保證金	49	-	-	-
	$ 2,480,430	$ 216,723	$ 13,979	$ 36,208

102年12月31日

	短於1年	1至3年	4至5年	5年以上
非衍生金融負債				
浮動利率工具				
短期借款	$ 993,055	$ -	$ -	$ -
長期借款	399,897	251,775	-	-
無附息負債				
應付票據	268,314	-	-	-
應付帳款	531,262	-	-	-
其他應付款	758,527	-	-	-
存入保證金	3,626	-	-	-
	$ 2,954,681	$ 251,775	$ -	$ -

102 年 9 月 30 日

	短於 1 年	1 至 3 年	4 至 5 年	5 年以上
非衍生金融負債				
浮動利率工具				
短期借款	$ 1,165,140	$ -	$ -	$ -
長期借款	346,456	344,638	-	-
無附息負債				
應付票據	222,628	-	-	-
應付帳款	676,728	-	-	-
其他應付款	1,041,076	-	-	-
存入保證金	48	-	-	-
	$ 3,452,076	$ 344,638	$ -	$ -

(2) 衍生金融負債之流動性及利率風險表

針對衍生金融工具之流動性分析，就採淨額交割之衍生工具而言，係以未折現之合約淨現金流入及流出為基礎編製；就採總額交割之衍生工具而言，係以未折現之總現金流入及流出為基礎編製。當應付或應收金額不固定時，揭露之金額係依資產負債表日殖利率曲線所推估之預計利率決定。

103 年 9 月 30 日

	要求即付或短於 1 個月	1～3 個月	3個月至1年	1 ～ 5 年	5 年以上
淨額交割					
匯率選擇權	$ -	$ -	$ 385	$ -	$ -
總額交割					
遠期外匯合約					
一流入	($ 3,042)	$ -	$ -	$ -	$ -
一流出	3,201	-	-	-	-
	$ 159	$ -	$ -	$ -	$ -

102 年 12 月 31 日

	要求即付或短於 1 個月	1～3 個月	3個月至1年	1 ～ 5 年	5 年以上
淨額交割					
匯率選擇權	$ -	$ 50	$ 1,281	$ -	$ -
總額交割					
遠期外匯合約	-				
一流入	($ 15,274)	$ -	$ -	$ -	$ -
一流出	16,095	-	-	-	-
	$ 821	$ -	$ -	$ -	$ -

102 年 9 月 30 日

	要求即付或短於 1 個月	1～3 個月	3個月至1年	1 ～ 5 年	5 年以上
淨額交割					
匯率選擇權	$ -	$ 3,349	$ -	$ -	$ -
總額交割					
遠期外匯合約					
一流入	($ 131,692)	($ 14,770)	$ -	$ -	$ -
一流出	131,779	14,805	-	-	-
	$ 87	$ 35	$ -	$ -	$ -

(3) 融資額度

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
尚未動用之無擔保銀行借款額度，要求即付，每年重新檢視			
一未動用金額	$ 1,687,732	$ 1,095,669	$ 1,223,983

三一、關係人交易

本公司之母公司為廣運機械工程股份有限公司，於 103 年 9 月 30 日暨 102 年 12 月 31 日及 9 月 30 日持有本公司普通股分別為 40.6%、53.01%及 53.85%。本公司之最終母公司及最終控制者為廣運機械工程股份有限公司。

本公司及子公司（係本公司之關係人）間之交易、帳戶餘額、收益及費損於合併時全數予以銷除，故未揭露於本附註。除已於其他附註揭露外，合併公司與其他關係人間之交易如下。

(一) 其他應收關係人款項

關係人類別	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
兄弟公司	$ 184	$ -	$ -

流通在外之應收關係人款項未收取保證。103 年及 102 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日應收關係人款項並未提列呆帳費用。

(二) 其他應付關係人款項（不含向關係人借款）

關係人類別	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
母公司	$ 100,881	$ 14,412	$ 339,662
兄弟公司	10,393	45,643	46,005
實質關係人－該公司董事長與本公司董事長具二親等關係	-	724	690
	$ 111,274	$ 60,779	$ 386,357

流通在外之應付關係人款項餘額係未提供擔保。

(三) 預付款項

關係人類別	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
母公司	$ 7,661	$ -	$ -

(四) 取得之不動產、廠房及設備

關係人類別	103年7月1日至9月30日	102年7月1日至9月30日	103年1月1日至9月30日	102年1月1日至9月30日
母公司	$ 91,858	$ 65,868	$ 91,858	$ 96,165
兄弟公司	433	-	433	-
實質關係人－該公司董事長與本公司董事長具二親等關係	-	-	-	2,299
	$ 92,291	$ 65,868	$ 92,291	$ 98,464

(五) 向關係人借款

關係人類別	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
母公司	$ -	$ 348,491	$ 329,744
兄弟公司	-	157,408	155,447
	$ -	$ 505,899	$ 485,191

合併公司 103 年及 102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日向關係人借款之借款利率區間分別為 2.5%～6%及 2.5%～6%，相關利息費用分別為 8,943 仟元及 13,237 仟元。

合併公司向關係人借款之借款利率與市場利率相當。

(六) 關係人為合併公司背書保證

關係人類別	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
本公司之董事長及母公司	$ 1,868,680	$ 2,027,606	$ 2,029,793

(七) 其他關係人交易

		103年7月1日至9月30日	102年7月1日至9月30日	103年1月1日至9月30日	102年1月1日至9月30日
兄弟公司	直接人工	$ -	$ -	$ 546	$ 2,025
母公司	利息費用	$ 731	$ 2,113	$ 5,063	$ 6,249
兄弟公司	利息費用	$ 130	$ 2,335	$ 3,880	$ 6,988
母公司	營業費用－修繕費	$ 3	$ -	$ 3	$ -
實質關係人－該公司董事長與本公司董事長具二親等關係	營業費用－其他	$ -	$ -	$ -	$ 73
母公司	製造費用－修繕費	$ 74	$ 19	$ 171	$ 596
兄弟公司	其他收入	$ 222	$ -	$ 222	$ -

租金支出

103年7月1日至9月30日

關係人名稱	租賃標的	租期	租金決定	月租（不含稅）	租金支出
母公司	中壢市自強一路五號	102年8月1日至105年7月31日	議價	$ 3,985	$ 11,956
母公司	台北市南港路二段97號3樓	101年10月1日至104年12月31日	議價	90	270
母公司	中壢模組廠之設備	102年8月1日至105年7月31日	議價	1,000	3,000

102年7月1日至9月30日

關係人名稱	租賃標的	租期	租金決定	月租（不含稅）	租金支出
母公司	中壢市自強一路五號	102年8月1日至105年7月31日	議價	$ 3,985	$ 10,967
母公司	台北市南港路二段97號3樓	101年10月1日至104年12月31日	議價	90	270
母公司	中壢模組廠之設備	102年8月1日至105年7月31日	議價	1,000	3,000

103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

關係人名稱	租賃標的	租期	租金決定	月租（不含稅）	租金支出
母公司	中壢市自強一路五號	102 年 8 月 1 日至 105 年 7 月 31 日	議價	$ 3,985	$ 35,868
母公司	台北市南港路二段 97 號 3 樓	101 年 10 月 1 日至 104 年 12 月 31 日	議價	90	810
母公司	中壢模組廠之設備	102 年 8 月 1 日至 105 年 7 月 31 日	議價	1,000	9,000

102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

關係人名稱	租賃標的	租期	租金決定	月租（不含稅）	租金支出
母公司	中壢市自強一路五號	102 年 8 月 1 日至 105 年 7 月 31 日	議價	$ 3,985	$ 32,081
母公司	台北市南港路二段 97 號 3 樓	101 年 10 月 1 日至 104 年 12 月 31 日	議價	90	810
母公司	中壢模組廠之設備	102 年 8 月 1 日至 105 年 7 月 31 日	議價	1,000	9,000

(八) 主要管理階層薪酬

	103年7月1日至9月30日	102年7月1日至9月30日	103年1月1日至9月30日	102年1月1日至9月30日
短期員工福利	$ 15,985	$ 2,901	$ 28,119	$ 7,017
退職後福利	54	44	162	152
	$ 16,039	$ 2,945	$ 28,281	$ 7,169

董事及其他主要管理階層之薪酬係由薪酬委員會依照個人績效及市場趨勢決定。

三二、質抵押之資產

下列資產業經提供為向銀行借款之擔保品、進口保證或進口設備、購料交易及訴訟之擔保明細如下：

	103年9月30日	102年12月31日	102年9月30日
其他金融資產－銀行承兌匯票	$ -	$ -	$ 71,960
其他金融資產－受限制活期存款	56,882	-	-
存出保證金	535,087	644,933	697,581
質押定存單（帳列無活絡市場之債券投資－流動）	87,710	201,518	261,201
房屋及建築－淨額	356,938	369,671	367,318
機器設備－淨額	531,947	960,880	1,001,901
質押定存單（帳列無活絡市場之債券投資－非流動）	7,975	7,975	7,879
結構式存款（帳列透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動）	169,062	161,119	-
土地使用權（帳列長期預付租金及預付租金）	175,744	178,158	176,008
	$ 1,921,345	$ 2,524,254	$ 2,583,848

三三、重大或有負債及未認列之合約承諾

除已於其他附註所述者外，合併公司於資產負債表日之重大承諾事項及或有事項如下：

(一) 本公司於 97 年 7 月 9 日與 SunEdison Products Singapore Pte, Ltd.（原名 MEMC Singapore Pte, Ltd.，以下簡稱 SunEdison）簽訂購料協議，依該協議本公司自 97 年 9 月 1 日起至 107 年 8 月 31 日，將向 SunEdison 採購不低於約美金 34 億元之太陽能矽晶圓。截至 103 年 9 月 30 日已支付部分保證金美金 39,514 仟元（折合新台幣約 1,269,373 仟元），帳列存出保證金。依據該合約，本公司在合約存續期間，每年需再提供履約保證金，金額約美金 10,500 仟元至 66,500 仟元（折合新台幣約 319,410 元至 2,022,930 仟元），本公司與 SunEdison 議定於 98 年 9 月開始以市價採購矽晶片。

本公司另與 SunEdison 於合約中明訂提供不退回之保證金計美金 3,000 仟元（折合新台幣 91,249 仟元）予 SunEdison 拓建廠房以

確保供貨料源，帳列其他非流動資產－其他項下，以實際進貨佔合約訂定之應進貨總額比重攤銷，截至 103 年 9 月 30 日，攤銷後新台幣餘額為 59,551 仟元，已於 101 年 12 月 31 日全數認列減損損失。

本公司 101 年度因受太陽能電池原料價格影響，過去簽訂之長期購料合約未依最低採購量交易，經與供應商取得共識並持續維持合作關係，認列預付貨款性質不足量之購料保證金損失，金額為 760,763 仟元及其他非流動資產減損損失 59,551 仟元，合計 820,314 仟元。

本公司與 SunEdison 於 102 年 3 月 29 日訂定增補協議，說明雙方簽訂之購料協議情形如下：

1. 修正最低採購量，合約剩餘期間內共需採購 250 百萬片矽晶圓，每季採購量不得低於 10.5 百萬片矽晶圓。
2. 未達採購量的部分將於年度核算，扣除可退回之存出保證金。
3. 雙方交易依循市價價格，每季更新。

(二) 本公司於 96 年 9 月與中美矽晶製品股份有限公司（以下簡稱中美晶公司）簽訂矽晶片購料合約，雙方約定分別自 97 年 1 月 1 日起至 99 年 12 月 31 日間及自 97 年 1 月 1 日起至 108 年 12 月 31 日間，每年分別依合約規定之數量及價格採購不低於約美金 44,388 仟元及歐元 85,518 仟元之太陽能矽晶圓，交付完畢止。本公司於合約規定期間分期預付購料款共計歐元 7,470 仟元予該供應商，預付款項不可退回，供應商保證供應約定數量原料予本公司。截至 103 年 9 月 30 日止，太極能源科技股份有限公司已支付尚未進貨預付貨款分別帳列預付款項 85,209 仟元及長期預付貨款 171,918 仟元。

本公司與中美晶公司於 99 年 10 月 20 日訂定增補協議，說明雙方上述於 96 年 9 月簽訂之購料協議情形如下：

1. 雙方所簽的合約條款，與其他太陽能產業客戶，尚無不同。
2. 本公司應盡力向中美晶公司進貨，以符合合約之要求。
3. 雙方交易依循市價價格。
4. 雙方目前並無訴訟糾紛。

本公司截至103年及102年9月30日，經評估履行該合約義務所發生之成本將高於預期從該合約所能獲得之經濟利益，已累計提列損失分別為51,932仟元及46,927仟元。

(三) 本公司於100年1月委託泰創工程股份有限公司施作S1機電空調統包工程，合約總價款為86,000仟元（未稅）。針對驗收尾款支付義務雙方存有爭議，經台灣桃園地方法院於102年11月判決本公司敗訴，需支付部分尾款（占工程總金額之15%）共計13,545仟元，以及至清償日止按週年利率5%之利息，目前本案二審上訴中。

泰創工程股份有限公司另針對S1機電空調統包工程部分尾款（占工程總金額之5%），追加工程、二次配工程尾款（占二次配工程總金額之20%）及其他次要工程共計15,684仟元提起訴訟，本公司認為上述工程皆尚未完成驗收，並且有諸多瑕疵，因此無支付義務，目前訴訟正進行中。

若本公司敗訴，共須支付金額為29,229仟元，佔本公司103年9月30日歸屬於本公司業主之權益4,457,119仟元之0.66%，對本公司之財務、業務尚不致發生重大影響。

(四) 合併公司截至103年9月30日，因建造及購置未完工程及設備而簽訂之合約，合約總價為341,156仟元，其中已支付156,708仟元。

(五) 合併公司103年9月30日止，已開立未使用信用狀餘額為美金10,560仟元、日圓26,705仟元及新台幣221仟元。

(六) 合併公司103年9月30日止為借款而開立之保證票據為1,341,697仟元，為借款提供背書保證金額，請詳附註三四之附表二。

三四、外幣金融資產及負債之匯率資訊

合併公司具重大影響之外幣金融資產及負債資訊如下：

103 年 9 月 30 日

	外幣	匯率	帳面金額
金融資產			
貨幣性項目			
美金	$ 52,428	30.42（美金：新台幣）	$ 1,594,865
美金	10,126	6.1525（美金：人民幣）	308,039
歐元	6,001	38.59（歐元：新台幣）	231,577
日圓	21,469	0.278（日圓：新台幣）	5,968
日圓	5,827	1（日圓：日圓）	1,620
人民幣	72,667	4.934（人民幣：新台幣）	358,540
人民幣	50,152	1（人民幣：人民幣）	247,450
			$ 2,748,059
非貨幣性項目			
人民幣	34,265	1（人民幣：人民幣）	$ 169,062
金融負債			
貨幣性項目			
美金	16,979	30.42（美金：新台幣）	$ 516,514
美金	16,820	6.1525（美金：人民幣）	511,676
歐元	49	38.59（歐元：新台幣）	1,905
日圓	17,247	0.278（日圓：新台幣）	4,795
日圓	21,199	0.0563（日圓：人民幣）	5,893
日圓	476	1（日圓：日圓）	132
人民幣	274,893	1（人民幣：人民幣）	1,356,322
			$ 2,397,237

102 年 12 月 31 日

	外幣	匯率	帳面金額
金融資產			
貨幣性項目			
美金	$ 48,297	29.805（美金：新台幣）	$ 1,439,502
美金	8,138	6.0969（美金：人民幣）	242,546
歐元	340	41.09（歐元：新台幣）	13,983
日圓	42,732	0.2839（日圓：新台幣）	12,132
日圓	10,273	1（日圓：日圓）	2,916
人民幣	31,082	1（人民幣：人民幣）	152,893
			$ 1,863,972

（接次頁）

（承前頁）

	外幣	匯率	帳面金額
非貨幣性項目			
人民幣	$ 32,754	1（人民幣：人民幣）	$ 161,119
金融負債			
貨幣性項目			
美金	21,147	29.805（美金：新台幣）	$ 630,284
美金	16,803	6.0969（美金：人民幣）	500,802
歐元	17	41.09（歐元：新台幣）	704
日圓	393,087	0.2839（日圓：新台幣）	111,596
日圓	5,187	1（日圓：日圓）	1,473
人民幣	169,496	1（人民幣：人民幣）	833,750
			$ 2,078,609

102 年 9 月 30 日

	外幣	匯率	帳面金額
金融資產			
貨幣性項目			
美金	$ 29,823	29.57（美金：新台幣）	$ 881,871
美金	10,926	6.148（美金：人民幣）	323,079
歐元	77	39.92（歐元：新台幣）	3,073
日圓	14,224	0.3021（日圓：新台幣）	4,297
人民幣	204	4.833（人民幣：新台幣）	987
人民幣	56,657	1（人民幣：人民幣）	273,823
			$ 1,487,130
金融負債			
貨幣性項目			
美金	13,090	29.57（美金：新台幣）	$ 387,086
美金	20,579	6.148（美金：人民幣）	608,532
歐元	17	39.92（歐元：新台幣）	684
日圓	233,083	0.3021（日圓：新台幣）	70,414
人民幣	165,843	1（人民幣：人民幣）	801,521
			$ 1,868,237

三五、附註揭露事項

(一) 重大交易事項及(二)轉投資事業相關資訊：

1. 資金貸與他人。（附表一）

2. 為他人背書保證。（附表二）

3. 期末持有有價證券情形（不包含投資子公司、關聯企業及合資控制部分）。（附表三）

4. 累積買進或賣出同一有價證券之金額達新臺幣 3 億元或實收資本額 20%以上。（無）

5. 取得不動產之金額達新臺幣3億元或實收資本額20%以上。（無）

6. 處分不動產之金額達新臺幣3億元或實收資本額20%以上。（無）

7. 與關係人進、銷貨之金額達新臺幣 1 億元或實收資本額 20%以上。（附表四）

8. 應收關係人款項達新臺幣 1 億元或實收資本額 20%以上。（附表五）

9. 從事衍生工具交易。（附註七）

10. 其他：母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額。（附表七）

11. 被投資公司資訊。（附表六）

(三) 大陸投資資訊：

1. 大陸被投資公司名稱、主要營業項目、實收資本額、投資方式、資金匯出入情形、持股比例、投資損益、期末投資帳面金額、已匯回投資損益及赴大陸地區投資限額。（附表八）

2. 與大陸被投資公司直接或間接經由第三地區所發生下列之重大交易事項，及其價格、付款條件、未實現損益：（附表九）

(1) 進貨金額及百分比與相關應付款項之期末餘額及百分比。

(2) 銷貨金額及百分比與相關應收款項之期末餘額及百分比。

(3) 財產交易金額及其所產生之損益數額。

(4) 票據背書保證或提供擔保品之期末餘額及其目的。

(5) 資金融通之最高餘額、期末餘額、利率區間及當期利息總額。

(6) 其他對當期損益或財務狀況有重大影響之交易事項，如勞務之提供或收受等。

三六、部門資訊

(一) 部門別資訊

合併公司所營事業集中於太陽能發電、輸電及配電製造等銷售，且主要營運決策者於分配資源及評量績效時並無部門之劃分。

(二) 地區別資訊

合併公司主要於兩個地區營運－臺灣與中國。

合併公司來自外部客戶之繼續營運單位收入依營運地點區分與非流動資產按資產所在地區分之資訊列示如下：

	103年1月1日至9月30日		102年1月1日至9月30日	
	收　　入	非流動資產	收　　入	非流動資產
臺　　灣	$ 348,895	$ 2,861,227	$ 161,417	$ 3,335,057
德　　國	871,413	-	1,524,221	-
義 大 利	37,829	-	250,114	-
中　　國	557,360	1,385,593	554,732	1,278,609
新 加 坡	283,848	-	224,742	-
南　　韓	372,463	-	372,463	-
法　　國	317,277	-	-	-
阿拉伯聯合大公國	194,186	-	84,520	-
其他國家	1,662,824	134	496,440	-
	$ 4,646,095	$ 4,246,954	$ 3,668,649	$ 4,613,666

非流動資產不包括分類為金融工具及遞延所得稅資產。

(三) 主要產品之收入

103年1月1日至9月30日			102年1月1日至9月30日		
太陽能電池	太陽能模組	其　　他	太陽能電池	太陽能模組	其　　他
$4,170,767	$ 464,216	$ 11,112	$3,591,198	$ 59,671	$ 17,780

(四) 主要客戶資訊

103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日			102 年 1 月 1 日至 9 月 30 日		
客 戶 代 號	金　　額	佔損益表收入比率 %	客 戶 代 號	金　　額	佔損益表收入比率 %
Hansol 公司	$ 550,484	12	Aleo Solar AG	$ 674,181	18
CS 公司	185,819	4	CS 公司	622,369	17
Aleo Solar AG	12,416	-	Hansol 公司	353,708	8

太極能源科技股份有限公司及子公司

資金貸與他人

民國 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表一

單位：新台幣及外幣仟元

編號（註1）	貸出資金之公司	貸與對象	往來項目	是否為關係人	本期最高餘額	期末餘額	實際動支金額	利率區間（註2及註3）	資金貸與性質	業務往來金額	有短期融通資金必要之原因	提列備抵呆帳金額	擔保品 名稱	擔保品 價值	對個別對象資金貸與限額（註2及註3）	資金貸與總限額（註2及註3）	備註
0	太極能源科技股份有限公司	太極能源科技（昆山）有限公司	其他應收款	Y	$ 468,730 RMB 95,000	$ 468,730 RMB 95,000	$ 320,710 RMB 65,000	2.5%~3%	短期融通資金之必要	$ -	營運週轉	$ -	無	$ -	$ 891,067	$ 1,782,135	
1	太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	太極能源科技（昆山）有限公司	其他應收款	Y	$ 327,217 USD 10,739	$ 230,553 USD 7,579	$ 230,553 USD 7,579	4%~5%	短期融通資金之必要	$ -	營運週轉	$ -	無	$ -	$ 334,030 RMB 67,906	$ 334,030 RMB 67,906	

註 1：編號欄之說明如下：

(1)發行人填 0。

(2)被投資公司按公司別由阿拉伯數字 1 開始依序編號。

註 2：依太極能源科技股份有限公司資金貸與他人作業程序限額計算如下：

個別對象貸與限額：公司淨值 20%：$4,455,337x20%=891,067

資金貸與總限額：公司淨值 40%：$4,455,337x40%=1,782,135

本期資金貸與利息總額為 1,681 仟元。

註 3：依太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司資金貸與他人作業程序限額計算如下：

個別對象貸與限額：公司淨值 100%：RMB 67,906x100%=67,906

資金貸與總限額：公司淨值 100%：RMB 67,906x100%=67,906

本期資金貸與利息總額為 8,907 仟元。

註 4：相關交易及期末餘額已於合併報表中消除。

太極能源科技股份有限公司及子公司

為他人背書保證

民國 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表二

單位：除另與註明者外，為新台幣仟元

編號（註1）	背書保證者公司名稱	被背書保證對象		對單一企業背書保證限額（註3）	本期最高背書保證餘額	期末背書保證餘額	實際動支金額	以財產擔保之背書保證金額	累計背書保證金額佔最近期財務報表淨值之比率（%）	背書保證最高限額（註3）	屬母公司對子公司背書保證	屬子公司對母公司背書保證	屬對大陸地區背書保證	備註
		公司名稱	關係（註2）											
0	太極能源科技股份有限公司	太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	(2)	$3,564,270	$ 327,217	$ 230,553	$ 230,553	$ 12,929（存出保證金）	5.17	$3,564,270	Y	N	N	
		太極能源科技（昆山）有限公司	(3)	3,564,270	91,410	91,260	91,260	36,504（定期存款質押）	2.05	3,564,270	Y	N	Y	
		承陽能源股份有限公司	(2)	3,564,270	62,008	60,455	60,452		1.36	3,564,270	Y	N	N	

註 1：編號欄之說明如下：

(1) 發行人填 0。

(2) 被投資公司按公司別由阿拉伯數字 1 開始依序編號。

註 2：背書保證者與被背書保證對象之關係有下列六種，標示種類即可：

(1) 有業務關係之公司。

(2) 直接持有普通股股權超過 50%之子公司。

(3) 母公司與子公司持有普通股股權合併計算超過 50%之被投資公司。

(4) 對於直接或經由子公司間接持有普通股股權超過 50%之母公司。

(5) 基於承攬工程需要之同業間依合約規定互保之公司。

(6) 因共同投資關係由各出資股東依其持股比例對其背書保證之公司。

註 3：對單一企業背書保證之限額：不超過太極能源科技股份有限公司 103 年 9 月 30 日淨值之 80%：4,455,337x80%＝3,564,270

背書保證最高限額：不超過太極能源科技股份有限公司 103 年 9 月 30 日淨值之 80%：4,455,337x80%＝3,564,270

太極能源科技股份有限公司及子公司

期末持有有價證券情形

民國 103 年 9 月 30 日

附表三

單位：除另予註明者外，為新台幣仟元

持有之公司	有價證券種類及名稱）	與有價證券發行人之關係	帳列科目	期末 股數	帳面金額	持股比例	公允價值	備註
太極能源科技股份有限公司	基金受益憑證							
	兆豐國際寶鑽貨幣市場基金	無	備供出售金融資產－流動	14,614,016.69	$ 180,325	-	$ 180,325	
	兆豐國際中國Ａ股基金	〃	〃	500,000	5,060	-	5,060	
					$ 185,385		$ 185,385	
承陽能源股份有限公司	基金受益憑證							
	兆豐國際寶鑽貨幣市場基金	無	備供出售金融資產－流動	1,712,733.78	$ 21,047	-	$ 21,047	
	華頓平安貨幣市場基金	〃	〃	882,098.69	10,004	-	10,004	
					$ 31,051		$ 31,051	

太極能源科技股份有限公司及子公司

與關係人進、銷貨之金額達新臺幣1億元或實收資本額20%以上

民國103年1月1日至9月30日

附表四

單位：除另予註明者外，為新台幣仟元

進（銷）貨之公司	交易對象名稱	關係	交易情形				交易條件與一般交易不同之情形及原因		應收（付）票據、帳款（註1）		備註
			進（銷）貨	金額（註1）	佔總進（銷）貨之比率	授信期間	單價	授信期間	餘額	佔總應收(付)票據、帳款之比率	
太極能源科技股份有限公司	太極能源科技（昆山）有限公司	子公司	進貨	$ 338,736	11%	T/T in Advance~T/T45天	-	—	$ -	-	
			銷貨	170,643	5%	T/T30天~T/T60天	-	—	56,746	8%	

註1：相關交易及期末餘額已於合併報表中消除。

太極能源科技股份有限公司及子公司

應收關係人款項達新台幣1億元或實收資本額20%以上

民國103年9月30日

附表五

單位：新台幣及外幣仟元

帳列應收款項之公司	交易對象名稱	關係	應收關係人款項餘額（註1）	週轉率	逾期應收關係人款項		應收關係人款項期後收回金額	提列備抵呆帳金額
					金額	處理方式		
太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	太極能源科技(昆山)有限公司	子公司	$ 230,553 USD 7,579	-	$ -	—	$ 29,051 USD 955	$ -
太極能源科技股份有限公司	太極能源科技(昆山)有限公司	子公司	320,710 RMB 65,000	-	-	—	-	-

註1：係屬資金融通性質，帳列其他應收款。

註2：相關交易及期末餘額已於合併報表中消除。

太極能源科技股份有限公司及子公司

被投資公司資訊、所在地區...等相關資訊

民國 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表六

單位：新台幣及外幣仟元

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司本期（損）益	本期認列之投資（損）益	備註
				本期期末	去年年底	股數	比率	帳面金額			
太極能源科技股份有限公司	太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	TrustNet Chambers Lotemau Centre, P.O. BoX 1225, Apia, Samoa.	投資業務	$ 852,794	$ 554,697	28,103,516	100	$ 615,534	($ 20,574)	($ 20,697)	子公司
	承陽能源股份有限公司	桃園縣中壢市復興里中壢工業區自強一路5號	太陽能發電及銷售業務	60,000	22,000	6,000,000	100	32,927	454	454	子公司
	太極能源科技日本株式會社	Room 303, Noa Shiba-Daimon, 1-4-4 Shiba-Daimon, Minato-Ku, Tokyo	太陽能產品、自動化設備及電子代工產品等銷售業務	JPY 10,000 2,880	JPY 10,000 2,880	10,000	100	1,569	13	13	子公司
太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	太極能源科技（昆山）有限公司	江蘇省昆山開發區蓬朗鎮富春江路1288號	研發、設計及生產高科技綠色電池（太陽能電池）及相關電池組件	USD 27,900 847,862	USD 18,000 549,765	-	100	614,450 RMB124,534	(21,018) (RMB 4,298)	(21,018) (RMB 4,298)	子公司

註 1：大陸被投資公司相關資訊請參閱附表八及附表九。

註 2：相關交易及期末餘額已於合併報表中消除。

太極能源科技股份有限公司及子公司

母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額

民國 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表七

單位：除另與註明者外，為新台幣仟元

編號（註 1）	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係（註 2）	交易往來情形			
				科目	金額	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率
0	太極能源科技股份有限公司	太極能源科技（昆山）有限公司	1	應收帳款	$ 56,746	與一般客戶無重大差異	1%
				銷貨收入	170,643	〃	4%
				其它應收款	320,710	計息利率 2.5%～3%	4%
				銷貨成本	388,736	與一般客戶無重大差異	8%
0	太極能源科技股份有限公司	太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	1	採用權益法之投資	298,097	-	4%
0	太極能源科技股份有限公司	承陽能源股份有限公司	1	應收帳款	4,235	〃	-
				銷貨收入	80,672	〃	2%
				銷貨成本	54,922	〃	1%
1	太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	太極能源科技（昆山）有限公司	3	其他應收款	230,553	計息利率 4%～5%	3%
				採用權益法之投資	298,097	-	4%

註 1：母公司及子公司相互間之業務往來資訊應分別於編號欄註明，編號之填寫方法如下：

(1)母公司填 0。

(2)子公司依公司別由阿拉伯數字 1 開始依序編號。

註 2：與交易人之關係有以下三種，標示種類即可（若係母子公司間或各子公司間之同一筆交易，則無須重複揭露。如：母公司對子公司之交易，若母公司已揭露，則子公司部分無須重複揭露；子公司對子公司之交易，若其一子公司已揭露，則另一子公司無須重複揭露）：

(1)母公司對子公司。

(2)子公司對母公司。

(3)子公司對子公司。

註 3：採用權益法之投資為本期新增投資金額。

註 4：相關交易及期末餘額已於合併報表中消除。

太極能源科技股份有限公司及子公司

大陸投資資訊

民國 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表八

單位：新台幣及外幣仟元

1. 大陸被投資公司名稱、主要營業項目、實收資本額、投資方式、資金匯出入情形、持股比例、投資損益、期末投資帳面金額及已匯回投資損益情形：

大陸被投資公司名稱	主要營業項目	實收資本額	投資方式（註1）	本期期初自台灣匯出累積投資金額	本期匯出或收回投資金額		本期期末自台灣匯出累積投資金額	被投資公司本期損益	本公司直接或間接投資之持股比例	本期認列投資（損）益（註2）	期末投資帳面金額	截至本期止已匯回投資收益	備註
					匯出	收回							
太極能源科技（昆山）有限公司	研發、設計及生產高科技綠色電池（太陽能電池）及相關電池組件	$ 847,862	(2)	$ 549,765	$ 298,097	$ -	$ 847,862	($ 21,018) (RMB 4,298)	100%	($ 21,018) (RMB 4,298) (2)-C	$ 614,450 RMB124,534	$ -	

註 1：投資方式區分為下列三種，標示種類別即可：

(1) 直接赴大陸地區從事投資。

(2) 透過第三地區公司再投資大陸：太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司

(3) 其他方式。

註 2：本期認列投資損益欄中：

(1)若屬籌備中，尚無投資損益者，應予註明。

(2)投資損益認列基礎分為下列三種，應予註明。

A.經與中華民國會計師事務所有合作關係之國際性會計師事務所查核簽證之財務報表。

B.經台灣母公司簽證會計師核閱簽證之財務報表。

C.其他（上述被投資公司自結之同期間財務報表）。

2. 赴大陸地區投資限額：

本期期末累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額
$ 847,862 (USD 27,900 仟元)	$ 847,862 (USD 27,900 仟元)	$ 2,673,202

太極能源科技股份有限公司及子公司

與大陸被投資公司直接或間接經由第三地區所發生下列之重大交易事項，及其價格、付款條件、未實現損益及其他相關資訊

民國 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表九

單位：新台幣及外幣仟元

大陸被投資公司名稱	交易類型	進、銷貨		價格	交易條件		應收（付）票據、帳款		未實現損益	備註
		金額	百分比		付款條件	與一般交易之比較	金額	百分比		
太極能源科技（昆山）有限公司	進貨	$ 338,736	11	與一般客戶無重大差異	與一般客戶無重大差異	無重大差異	應付帳款 $ -	-	$ 122	
	銷貨	170,643（註4）	5	〃	〃	〃	應收帳款 $ 56,746（註4）	8	(1,176)	

註 1：與大陸被投資公司直接或間接經由第三地區提供資金融通之最高餘額、期末餘額、利率區間及當期利息總額，其相關情形請詳附表一。

註 2：與大陸投資公司直接或間接經由第三地區事業提供背書、保證或提供擔保品目的係子公司融資所需，其相關情形請詳附表二。

註 3：與大陸投資公司直接或間接經由第三地區事業財產交易金額及所產生之損益數額：無。

註 4：相關交易及期末餘額已於合併報表中消除。